

北九州市立自然史・歴史博物館  
(北九州市立いのちのたび博物館)  
年 報

平成 26 年度



## ごあいさつ

北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）は平成14（2002）年11月3日に開館し、開館10周年を節目に施設改修工事を行って、平成25（2013）年3月23日にリニューアルオープンしました。来館者数も大幅に増加しており、これもひとえに多くの方々のご支援・ご協力の賜物です。厚く御礼申し上げます。

当博物館は「いのちのたび」をテーマに、46億年の地球の歴史を生命の進化を中心に紹介しています。私たち人間の歴史も自然とのかかわりを通じた「いのちのたび」と捉え、リニューアルによりさらに展示の充実を図ったところです。しかし博物館が果たすべき役割・使命はますます多様化しており、「真価」が問われるのはこれからです。職員一同さらなる「進化」をめざして努力していく所存です。

ここに平成26年度の年報を刊行します。昨年度は特別展や企画展の開催、さまざまな教育普及活動に加えて、「ユニバーサルミュージアム化事業」などの新たな事業にも取り組みました。本年報は博物館の「進化」をめざしたこれらの活動の記録です。博物館の活動内容をご理解いただき、よりよい博物館を創り出していくため、積極的なご意見とさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、昨年度末をもって伊藤明夫館長が退任し、新年度より後任の館長に私が就任しました。これまで培われてきた知の財産を継承しつつ、よりよい博物館づくりに微力を尽くしていくことをお約束して、刊行のごあいさつとさせていただきます。

平成27年9月

北九州市立自然史・歴史博物館  
館長 上田恭一郎

# 北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

## <理 念>

自然と人間の関わりを考える共生博物館

- 1 博物館の展示に於いて示していく
- 2 教育・普及事業に於いて啓発を行う
- 3 資料収集、保存及び研究を進めていく

## <方向性>

知的アクセス権を保障する博物館——知的好奇心への対応

- 1 ミュージアム・ネット化構想を進める
- 2 常に開館している博物館「24時間ミュージアム」を推進する
- 3 知的な疑問や関心に責任を持って応える

セカンドスクールとしての博物館——将来への知的投資

- 1 学校等に対して誘致事業を推進する
- 2 学校教育の支援事業を強化、拡大する
- 3 家庭教育の支援事業を充実する

研究の成果を教育・普及に生かす博物館——社会への知的還元

- 1 知識と経験を生かし、質の高い展示と教育・普及事業を行う
- 2 知の集積施設として外部の委員・講師や他組織の指導・助言を行う
- 3 地域の特性を活かした研究を行い、広く情報を発信する

# 目次

ごあいさつ

北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

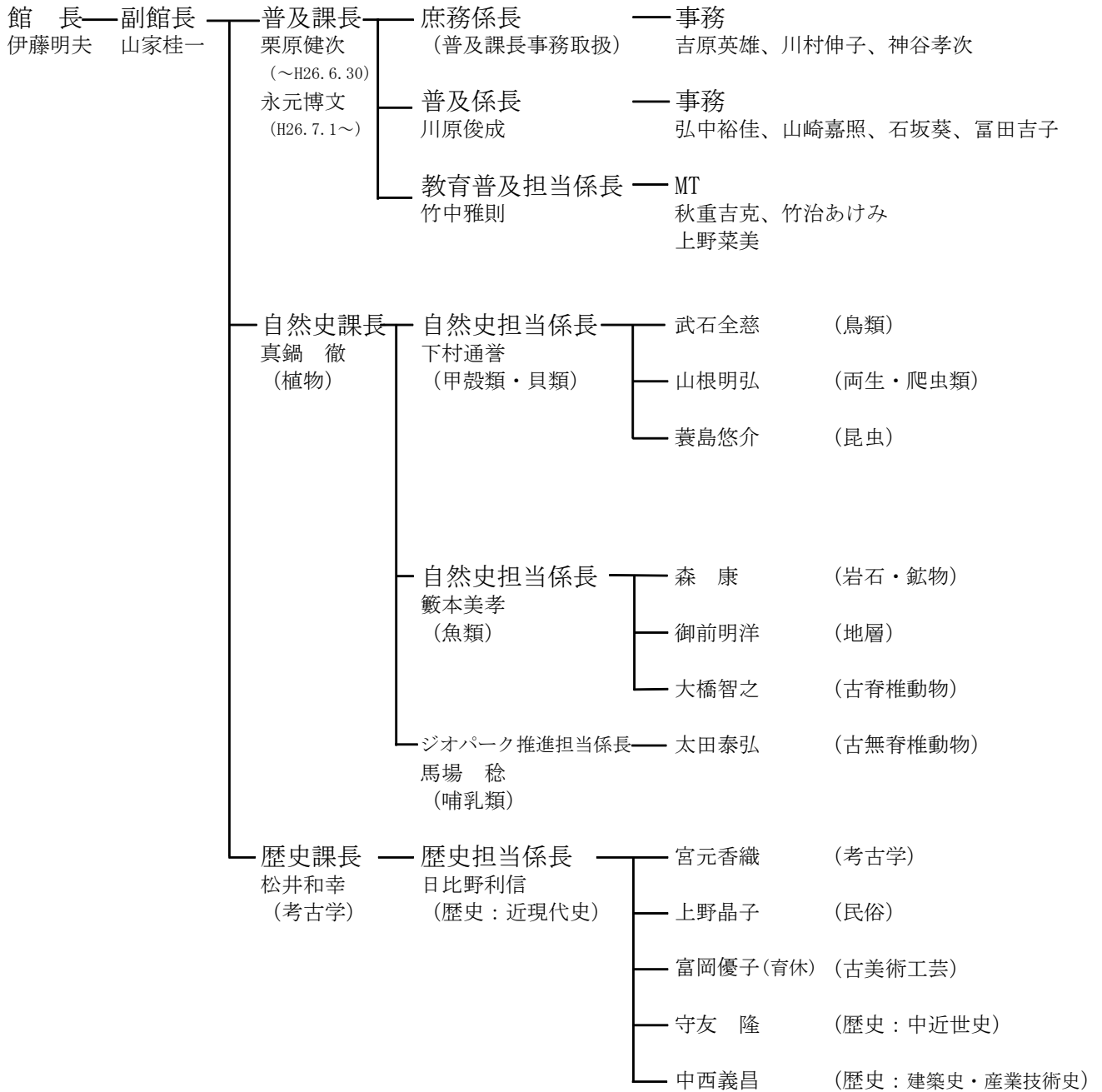
## 目次

	頁
1. 組織・運営体制.....	1
2. 博物館協議会.....	2
3. 平成 26 年度予算.....	3
4. 施設概要.....	4
5. 沿革.....	5
6. 入館者の状況.....	8
7. 視察受入状況.....	9
8. 報道一覧.....	10
9. 特別展.....	15
10. ぽけっとミュージアム：企画展、テーマ展等.....	19
11. その他の事業.....	23
12. 教育普及活動.....	31
13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動.....	37
14. 自然史友の会の活動.....	38
15. 歴史友の会の活動.....	39
16. 資料の収集保存状況.....	40
17. 資料の特別観覧<研究他>状況（自然史・歴史）.....	41
18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	43
19. 画像等資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	45
20. 学芸員研究業績（自然史）.....	47
21. 学芸員研究業績（歴史）.....	51
22. 博物館刊行物.....	52

# 1. 組織・運営体制

## (1) 平成26年度組織

(平成26年7月末日時点)



## 2) 名誉館員

太田 正道	(2002. 11. 3~)	藤丸 詔八郎	(2005. 4. 1~)
戸来 義臣	(2007. 4. 1~)	税田 昭徳	(2007. 4. 1~)
藤井 厚志	(2008. 4. 1~)	小野 勇一	(2010. 4. 1~)
岡崎 美彦	(2010. 4. 1~)	永尾 正剛	(2011. 4. 1~)
有川 宜博	(2012. 3. 1~)	上田恭一郎	(2013. 4. 1~)

## 2. 博物館協議会

### (1) 博物館協議会委員（任期 平成 25 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）

会長	真鍋 真	国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ グループ長
副会長	泉 優佳理	北九州市環境首都検定検討会構成員
	伊澤雅子	琉球大学理学部教授
	岩松文代	北九州市立大学文学部教授
	上山敬義	北九州市立高等学校校長
	木村洋子	アトリエ PAO 一級建築士事務所代表
	佐藤睦子	梅光学院大学博物館学芸員
	染川香澄	ハンズ・オン・プランニング代表
	三島美佐子	九州大学総合研究博物館准教授
	森田 稔	元九州国立博物館副館長
	柳井貴義	北九州市立大蔵小学校校長

### (2) 開催日時

平成 26 年 9 月 16 日（火） 13:30～16:00

### (3) 内容

#### 1) 平成 25 年度事業実績（博物館年報）について

ア 概要

イ 特別展開催実績

「北九州市の宝もの」(H25. 4. 20～6. 16)

「世界の昆虫展」(H25. 7. 13～9. 1)

「邪馬台国が見える！！古代日本の原風景」(H25. 9. 14～11. 4)

「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」(H. 24. 3. 10～5. 6)

#### 2) 平成 26 年度事業計画について

ア 概要

イ 特別展開催計画

「まるごと猫展」(H. 24. 7. 14～9. 23)

「THE モンスター展」(H26. 7. 19～9. 23)

「メタルズ！展」(H26. 11. 1～12. 23)

「地球からの贈り物～石の美と魅力～」(H27. 3. 21～5. 10)

ウ ユニバーサルミュージアム化事業

エ 博物館ボランティア制度改革

#### 3) 質疑応答

### 3. 平成 26 年度予算

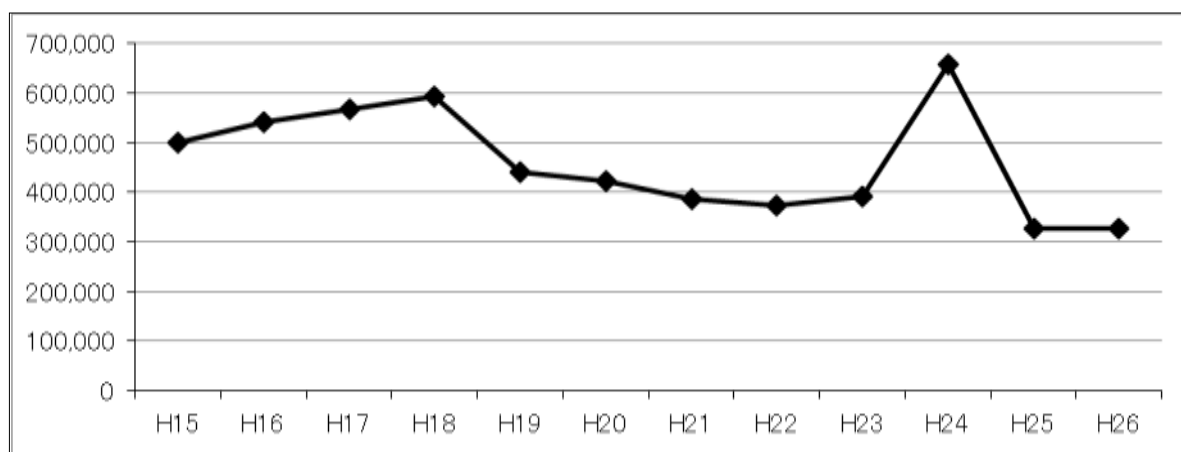
歳 入 (単位：千円)		歳 出 (単位：千円)	
博物館使用料 (常設展入館料、駐車場料金など)	119,582	企画展・特別展開催経費	49,600
社会教育施設目的外使用料 (ミュージアムショップ使用料など)	1,537	資料整備・調査研究経費	17,622
企画費雑入 (特別展観覧料、刊行物販売など)	37,214	教育普及経費	4,187
		博物館維持管理経費等	255,504
計	158,333	計	326,913

#### 博物館予算(歳出)の推移

(単位：千円)

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
予算額	2,476,072	501,604	540,788	567,441	593,467	441,058	424,070	387,868
備 考	H14. 11. 3 開館		内、太陽光発 電設備整備 32,000	内、太陽光 発電設備整 備 60,000	内、太陽光 発電設備整 備 108,000			
年 度	H22	H23	H24	H25	H26			
予算額	372,731	392,184	659,576	326,569	326,913			
備 考			内、博物館展示・ 施設等改修事業 300,000					

#### 博物館予算(歳出)の推移 (グラフ)



(単位：千円)

\*但し、平成 14 年度は除く。

## 4. 施設概要

構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造） 地上 3階  
各室面積

(単位：㎡)

室名	面積	室名	面積	室名	面積
展示部門	6,232	研究処理部門	871	管理部門	624
アースモール(PMを除く)	1,885	地学系研究室	57	館長室	25
ぼけっとミュージアム (PM)	253	生物系研究室 (植物・昆虫)	29	副館長室	25
エンバイラマ館 (リサーチゾーンを含む)	1,067	生物系研究室 (動物・魚類)	29	事務室	163
自然発見館 (バイオリウムを含む)	581	歴史研究室	87	応接室	32
ギャラリー館	509	骨格標本作成室	36	会議室	62
歴史展示(カルチャーモールを含む)	1,755	燻蒸室 (前室を含む)	30	印刷室・出版物保管室	29
こどもミュージアム (乳幼児対象)	89	解剖室	46	救護室	21
こどもミュージアム (小学生対象)	93	無脊椎動物化石処理室	30	更衣室	13
		脊椎動物化石処理室	30	一般倉庫	57
		岩石鉱物処理室	37	交流員控室	25
		昆虫標本処理室	30	管理人室	26
		動植物標本処理室	60	会議室 S	30
		液浸標本処理室	30	会議室 R	30
情報部門	1,018	技工室	60	会議室 X	49
		整理室	60	外来市民研究室	37
ホール (オープンギャラリーを含む)	509	暗室 (前室を含む)	26		
ガイド館 (倉庫2を含む)	386	撮影室	41		
情報館	123	電子顕微鏡室	40		
		コンピューター室	28		
		保存科学室	40		
探究部門	204	薬品室・特殊薬品室	25		
実習室	123	シャワー室	6		
講座室	81	器材倉庫	14		
収蔵部門	2,506				
荷解室	96			サービス部門	463
一時保管室	64			ミュージアムショップ	156
組立室	52			休憩ルーム	206
冷凍室・冷蔵室 (前室を含む)	49			休憩デッキ	101
地学系収蔵庫	202			供用部門	5,093
液浸標本収蔵庫	221				
重量物収蔵庫	204				
植物標本収蔵庫	234				
動物標本収蔵庫	165				
昆虫標本収蔵庫	238				
模式標本収蔵庫	44				
歴史資料収蔵庫	430				
考古資料収蔵庫 (金属器を含む)	75				
特別収蔵庫	71				
古文書・古美術収蔵庫	140				
書庫	138				
展示準備室	83				
				合計	17,011



## 5. 沿革

- 昭和 50(1975)年 【歴史】8月 北九州市立歴史博物館開館(8/1)
- 昭和 51(1976)年 【歴史】1月 豊前修験道・英彦山展  
【自然史】5月 小学生の発見をきっかけに、山田弾薬庫跡地で世界最古のニシン料魚類化石ディプロミスタスが発掘される  
【歴史】10月 洞海湾の歴史展  
【自然史】10月 北九州産魚類化石展「北九州市の魚類化石～化石から見た北九州～」 主催：北九州市教委・北九州市産魚類化石展示実行委員会
- 昭和 53(1978)年 【自然史】4月 戸畑市民会館内に「自然史博物館開設準備室」設置  
【自然史】10月 マッコウクジラの生の骨が到着
- 昭和 54(1979)年 【自然史】1月 「北九州自然史友の会」が発会し、機関誌「わたしたちの自然史」の発行(1/7)
- 昭和 55(1980)年 【歴史】7月 日韓文化交流展～古代のロマンを求めて～
- 昭和 56(1981)年 【自然史】5月 北九州市立自然史博物館が八幡駅ビルの2・3・4階を仮施設として開館(5/2)
- 昭和 58(1983)年 【考古】8月 北九州市立考古博物館開館 九州最初の考古学専門館として小倉北区金田一丁目  
開館(8/1)  
【歴史】10月 北九州のまつり芸能展
- 昭和 59(1984)年 【自然史】9月 友好都市締結5周年記念として、中国大連市の大連自然博物館で「世界の昆虫」展を開催  
【歴史】10月 北九州甲冑展～よろい・かぶとの歴史～  
【自然史】12月 響灘沖から巨大珪化木の引き上げ
- 昭和 60(1985)年 【歴史】10月 「小倉藩創始 細川家の歴史展」
- 昭和 61(1986)年 【自然史】8月 開館5周年記念特別展「中国の動物と恐竜の世界展」
- 昭和 62(1987)年 【歴史】10月 わが町の宝「北九州市の指定文化財展」
- 昭和 63(1988)年 【考古】8月 開館5周年記念「北九州の中国陶磁展」
- 平成 2(1990)年 【歴史】10月 関門の潮流展～翔けぬけた鎌倉武士たち～
- 平成 4(1992)年 【自然史】3月 開館10周年記念出版物として「山田緑地の自然」を発行
- 平成 5(1993)年 【考古】4月 考古博物館友の会発足  
【考古】10月 開館10周年記念「終末期の古墳展」
- 平成 7(1995)年 【考古】5月 展示解説ボランティア制度発足  
【歴史】8月 戦後50周年記念 北九州平和資料展～戦時下の市民の暮らし～
- 平成 8(1996)年 【自然史】7月 展示解説ボランティア制度発足  
【総合】10月 「東田地区文化施設整備構想検討委員会」(委員長 有馬朗人 東京大学名誉教授)が、「環境」を共通テーマとする自然史、産業科学、環境、歴史の4館からなるシャイン博物館構想「東田地区文化施設の整備の方向について」を報告
- 平成 10(1998)年 【考古】8月 開館15周年記念「西と東の縄文土器展」
- 平成 11(1999)年 【総合】6月 (仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館起工
- 平成 12(2000)年 【歴史】10月 伊能忠敬と九州展
- 平成 13(2001)年 【総合】3月 (仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館の建物が竣工
- 平成 14(2002)年 11月 北九州市立自然史・歴史博物館オープン(小野勇一館長)(11/3)  
開館記念特別展「セイスモサウルスとその世界」(11/3～12/28:56日間)
- 平成 15(2003)年 3月 開館記念特別展「COME BACK～よみがえれ文化と生きものたち～」(3/1～4/6:37日間)  
4月 特別展「ミネラルワールド九州・山口 わたしたちのまわりの鉱物展」(4/26～6/8:44日間:25,871人)  
7月 特別展「発見!虫王国」(7/19～8/31:44日間:79,687人)  
9月 特別展「恐竜時代の生き物たち」(9/19～10/13:25日間:12,828人)  
10月 特別展「発掘された日本列島2003」(10/26～11/30:36日間:11,260人)  
12月 企画展「絵で見る植物の世界」(12/6～12/23:18日間)
- 平成 16(2004)年 1月 企画展「博物館のお正月」(1/2～2/1:31日間)

- 3月 企画展「博多祇園山笠展～まつりにみる福岡の歴史～」(3/5～4/11：38日間)
- 4月 特別展「葛飾北斎展」(4/23～5/23：31日間：14,262人)
- 7月 特別展「からくり・ロボット体験ランド」(7/17～9/5：51日間：50,712人)
- 10月 企画展「～片山正信氏の版画に見る～昭和の北九州百景」(10/1～12/26：87日間)
- 企画展「襤褸の世界～堀切辰一・布のいのち見つめて～」(10/8～11/28：52日間)
- 平成17(2005)年 1月 特別展「古代都市誕生～飛鳥時代の仏教と国づくり～」(1/2～2/20：50日間：11,590人)
- 3月 特別展「なぜ？なに？動物ワールド」(3/19～5/8：51日間：26,638人)
- 7月 特別展「生きもの大集合 世界の両生・爬虫類展」(7/16～9/4：51日間：76,623人)
- 10月 企画展「鶏民芸品展～秋篠宮コレクション～」(10/8～11/20：44日間)  
入館者100万人達成！(10/26)
- 11月 特別展「大名細川家～文と武の軌跡～」(11/18～12/11：24日間：3,739人)
- 12月 特別展「恐竜博2005～恐竜から鳥への進化～」(12/23～3/31：99日間：207,397人)
- 平成18(2006)年 4月 企画展「化石王 三葉虫」(4/29～5/28：30日間)
- 7月 特別展「昆虫ワールド・カップ2006」(7/15～9/3：51日間：76,008人)
- 9月 企画展「アイヌ文様の美～線のいのち、息づくかたち～」(9/23～11/26：65日間)
- 12月 特別展「驚異の地下帝国 始皇帝と彩色兵馬俑展～司馬遷『史記』の世界～」(12/14～3/31：104日間：63,811人)
- 平成19(2007)年 4月 企画展「有明海 干潟を育む生き物と文化～中尾勘悟写真展～」(4/15～5/6：22日間)
- 7月 開館5周年記念特別展「世界最大の翼竜展～恐竜時代の空の支配者～」(7/7～9/2：58日間：96,103人)
- 10月 開館5周年記念特別展「修験の歴史と自然～西日本の山の信仰～」(10/12～11/11：31日間：2,580人)
- 12月 特別展「フェアブルにまなぶ」(12/22～2/11：52日間：18,658人)
- 平成20(2008)年 3月 入館者200万人達成！(3/22)  
企画展(開館5周年記念事業)「5年間のあゆみ展」(3/22～4/6：16日間)
- 4月 企画展「絵で見る植物界の多様性 原田英子植物画展」(4/19～5/11：23日間)
- 7月 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念「近代北九州百年の歩み」於：仁川広域市立博物館(7/19～9/21：65日間)  
特別展「シーラカンス展 ブラジルの化石と大陸移動の証人たち」(7/12～8/31：51日間：56,360人)
- 8月 北九州市・仁川広域市姉妹都市提携20周年記念「開港場仁川の情景」於：いのちのたび博物館 ぼけっとミュージアム(8/2～10/5：65日間)
- 10月 特別展「美しき九州の旅～「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行～」(10/11～11/30：51日間：6,659人)
- 平成21(2009)年 1月 特別展「小倉のお殿さま～小笠原家と城下町～」(1/2～2/8：38日間：6,513人)
- 3月 企画展「ひとと海のものごたがり」(3/1～5/10：71日間)
- 5月 企画展「自然史友の会って何？ 友の会30年のあゆみと活動」(5/23～6/14：23日間)
- 7月 特別展「恐竜ラボ2009～よみがえれ！恐竜ワールド～」(7/18～8/31：45日間：64,628人)
- 9月 特別展「世界遺産ナスカ 地上絵の謎」(9/19～11/23：66日間：30,266人)
- 平成22(2010)年 1月 特別展「布のこころ 受け継がれる母の想いとくらしの美」(1/2～2/21：51日間：6,567人)
- 2月 大連市旅順博物館と友好交流に関する協定を締結(2/6)
- 3月 特別展「どうぶつ大集合！肉食系？草食系？なにをたべているのかな？」(3/20～5/30：72日間：28,327人)
- 4月 伊藤明夫館長が就任
- 7月 特別展「昆虫大接近！～みんなであそぼう・虫たちの森～」(7/17～9/5：51日間：71,641人)
- 10月 特別展「禅寺広寿山の名宝～小倉にひらいた中国文化の華～」(10/9～11/28：51日間：4,881人)
- 11月 仁川広域市立博物館および大連市旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」調

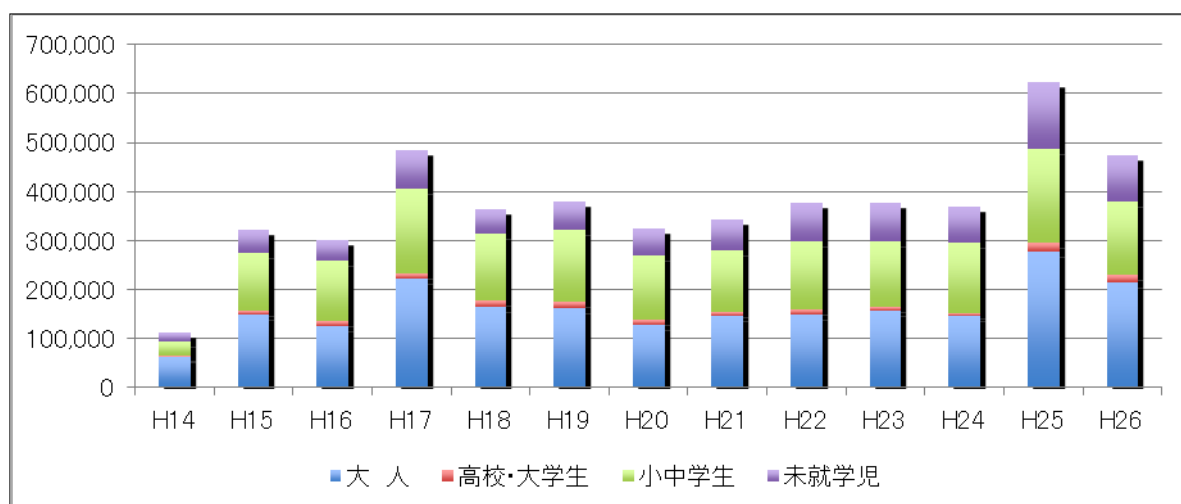
印 (11/5~7)

- 平成 23(2011)年 1月 特別展「古代メキシコ・オルメカ文明展 マヤへの道」(1/2~3/31: 89日間: 22,598人)  
入館者 300万人達成! (1/15)
- 2月 入館者 300万人達成記念「ありがとう祭」(2/11~13: 3日間)
- 4月 特別展「エビとカニのふしぎ 杉浦千里博物画の世界」(4/23~5/31: 39日間: 19,297人)
- 7月 特別展「世界の両生類・爬虫類大集合!」(7/16~9/4: 51日間: 74,797人)
- 10月 特別展「大連・モダンの風景 旅順博物館所蔵大連古写真展/鉄道展~あじあ号から新幹線へ~」(10/7~12/11: 66日間: 11,493人)
- 12月 特別公開「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル」(12/22~12/25: 4日間: 11,158人)
- 平成 24(2012)年 1月 特別展「大内文化と北九州 戦国の世に花開く雅の世界」(1/2~2/12: 42日間: 4,559人)
- 3月 特別展「アンモナイトのふしぎ~首長竜やモササウルスとの戦い~」(3/10~5/6: 58日間: 25,121人)及び「みんなで救った被災標本展」(同期間: 6,857人)
- 7月 特別展「対決! 恐竜展」(7/14~9/23: 72日間: 102,921人)
- 10月 特別展「いのちのたび博物館 10年のあゆみ~とっておきのコレクションが勢ぞろい~」(10/20~12/2: 44日間: 30,283人)
- 11月 開館 10周年記念行事 (11/3-4)
- 12月 リニューアル工事閉館 (12/3-翌 3/22)
- 平成 25(2013)年 3月 リニューアルオープン (3/23)
- 4月 北九州市制 50周年記念特別展「北九州市の宝もの」(4/20~6/16: 58日間: 30,740人)
- 7月 北九州市制 50周年記念特別展「世界の昆虫展」(7/13~9/1: 51日間: 125,805人)  
入館者 400万人達成! (7/25)
- 9月 北九州市制 50周年記念特別展「邪馬台国が見える!! 古代日本の原風景」(9/14~11/4: 52日間: 20,990人)
- 12月 北九州市制 50周年記念特別展「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」(12/21~28, 1/2~2/11: 49日間: 24,852人)
- 平成 26(2014)年 3月 特別展「まるごと猫展」(3/15~6/1: 79日間: 54,700人)  
年間入場者 60万人超達成! (3/31: 622,701人. 過去 10年間 [H.15~24] の最多は平成 17年度 483,495人で、平均は 363,379人)
- 7月 特別展「THE モンスター展~自然界の怪物たち~」(7/19~9/23: 67日間: 117,585人)
- 11月 特別展「メタルズ! ~変容する金属の美~」(11/1~12/23: 53日間: 11,448人)
- 平成 27 (2015) 年 3月 特別展「地球からの贈り物~石の美と魅力~」(3/21~5/10: 51日間: 26,182人)

## 6. 入館者の状況

	年度	大人	高校・大学生	小中学生	未就学児	年計	累計
入館者 総数 (人)	14	60,946 (55.1%)	2,677 (2.4%)	29,903 (27.0%)	17,096 (15.5%)	110,622 (100%)	162,527
	15	148,376 (46.2%)	7,950 (2.5%)	117,407 (36.5%)	47,692 (14.8%)	321,425 (100%)	483,952
	16	124,591 (41.5%)	9,262 (3.1%)	125,566 (41.8%)	40,644 (13.6%)	300,063 (100%)	784,015
	17	220,645 (45.6%)	11,699 (2.4%)	173,303 (35.9%)	77,848 (16.1%)	483,495 (100%)	1,267,510
	18	163,725 (45.2%)	12,630 (3.5%)	137,387 (37.9%)	48,549 (13.4%)	362,291 (100%)	1,629,801
	19	160,194 (42.2%)	12,771 (3.4%)	147,601 (38.9%)	58,881 (15.5%)	379,447 (100%)	2,009,248
	20	125,898 (39.0%)	10,487 (3.2%)	131,344 (40.7%)	54,997 (17.2%)	322,726 (100%)	2,331,974
	21	145,843 (42.5%)	8,151 (2.4%)	124,106 (36.1%)	65,290 (19.0%)	343,390 (100%)	2,675,364
	22	148,752 (39.6%)	10,516 (2.8%)	137,441 (36.6%)	78,881 (21.0%)	375,590 (100%)	3,050,954
	23	154,803 (41.2%)	8,933 (2.4%)	134,619 (35.8%)	77,299 (20.6%)	375,654 (100%)	3,426,608
	24	144,271 (39.0%)	7,267 (2.0%)	143,409 (38.8%)	74,764 (20.2%)	369,711 (100%)	3,796,319
	25	277,499 (44.6%)	16,837 (2.7%)	191,914 (30.8%)	136,451 (21.9%)	622,701 (100%)	4,419,020
	26	214,140 (45.1%)	13,880 (2.9%)	150,867 (31.8%)	96,052 (20.2%)	474,939 (100%)	4,893,959

※平成14年度は、11/3～11/10 無料期間 51,905 人を累計に含む。  
 ※平成24年度は、12/3～3/22 が改装工事で休館。



\*このほか、31～36 ページに記しているように各種の教育普及活動を実施している。普及講座だけでも1,305名以上の方が当館を利用しているが、これら講座等の参加者は上記入館者数には含まれていない。

## 7. 視察受け入れ状況

### 平成26年度 視察訪問受け入れ状況

No.	月日	申請者	訪問者・団体	人数
1	4月17日	総務企画局アジア交流課	仁川広域市 市議会議長ほか	10
2	4月18日	産業経済局観光・コンベンション課	シンガポール教育旅行関係者ほか	4
3	5月20日	御船町役場議会事務局	御船町役場議会民生文教常任委員会	7
4	6月11日	産業経済局観光・コンベンション課	マイルストーン(株)ほか	5
5	6月20日	飯塚市教育委員会	サニーベール市中高生ほか	16
6	6月28日	上下水道局海外事業課	JICA集団研修ミャンマー人ほか	4
7	7月9日	環境局環境国際戦略課	スラバヤ市職員ほか	2
8	7月9日	総務企画局世界遺産登録推進室	世界遺産コンサルタントほか	7
9	7月16日	岩手県福岡事務所	岩手県知事ほか	3
10	7月17日	熊本県環境生活部水俣病保健課	熊本県環境生活部水俣病保健課ほか	13
11	7月18日	仙台市水道局総務課	仙台市水道局総務課職員	1
12	7月30日	議会事務局	堺市議会産業環境委員会	10
13	8月12日	こども家庭局青少年課	都市マネジメント政策室ほか	6
14	8月20日	福岡県観光連盟	滋賀、岡山、広島、徳島の学校関係者	14
15	8月22日	熊本県文化企画課	熊本県文化企画課課長補佐ほか	2
16	8月23日	北九州イノベーションギャラリー	国立科学博物館職員ほか	4
17	8月26日	上下水道局海外事業課	ミャンマー・マンダレー市長ほか	5
18	9月23日	上下水道局海外事業課	ミャンマー・マンダレー研修生ほか	7
19	10月8日	山口県立大学	山口県立大学国際文化学部学生	22
20	10月24日	八幡西ロータリークラブ	八幡西ロータリークラブ会員	40
21	10月25日	国立夜須高原青少年自然の家	タイ国高校生ほか	38
22	11月11日	豊田市教育委員会文化財課	豊田市教育委員会文化財課	2
23	11月12日	鳥取県立博物館	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会	5
24	11月22日	上下水道局海外事業課	カンボジア・シェムリアップ水道公社研修生	8
25	11月22日	西日本産業貿易コンベンション協会	国際会議オーガナイザーほか	3
26	11月27日	西日本産業貿易コンベンション協会	国際会議オーガナイザーほか	6
27	11月30日	広島大学総合博物館	同博物館実習生	60
28	2月23日	産業経済局観光・コンベンション課	通訳案内士	30
29	2月27日	建設局水環境課	韓国ほたる研究会	24
30	3月7日	総務企画局アジア交流課	大連市副市長ほか	12
31	3月19日	山口県立山口博物館	同博物館館長ほか	2
32	3月21日	福岡県観光連盟	旅行社の教育旅行担当者	12

合計 384

## 8. 報道一覧

### (1) 平成26年度博物館関係報道状況記録(新聞)

NO.	掲載月日	新聞社名	内 容
1	4月4日	朝日	北九州の化石 実は角竜類
2	4月4日	朝日	決闘の地 400年前に飛べ 巖流島と関門地域
3	4月4日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
4	4月4日	毎日	歯の化石 角竜類だった
5	4月5日	朝日	小倉で発見 角竜の歯だよ
6	4月6日	西日本	角竜の歯と判明
7	4月6日	西日本	駆逐艦「柳」設計図見つかる
8	4月8日	西日本	「まるごと猫展」イベント情報
9	4月11日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
10	4月12日	毎日	化石産地の保護
11	4月16日	毎日	連載[1] 招き猫
12	4月17日	毎日	連載[2] マッチラベル
13	4月17日	読売	「まるごと猫展」イベント情報
14	4月17日	読売	「まるごと猫展」イベント情報
15	4月18日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
16	4月19日	毎日	連載[3] 猫絵
17	4月21日	毎日	撮影エピソード披露
18	4月21日	朝日	山笠の「見送り」新調
19	4月22日	毎日	連載[4] ネコード
20	4月23日	毎日	連載[5] 野生の「ネコ」たち
21	4月24日	西日本	「まるごと猫展」イベント情報
22	4月25日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
23	4月25日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
24	4月25日	西日本	軍師黒田官兵衛ゆかりの名宝
25	4月26日	西日本	「まるごと猫展」イベント情報
26	4月29日	毎日	「まるごと猫展」イベント情報 (写真あり)
27	4月29日	読売	恐竜の歯 化石は新角竜類
28	5月5日	毎日	「まるごと猫展」かわいらしくポーズ(イベント)
29	5月9日	西日本	北九州ミュージアムウイーク
30	5月9日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
31	5月12日	朝日	16歳作 城ジオラマ 官兵衛の馬ヶ岳城
32	5月12日	西日本	「まるごと猫展」イベント情報
33	5月13日	毎日	地質や生物、歴史遺産紹介 ジオ&バイオ研究会がマップ作製
34	5月15日	読売	Share!東田まつり
35	5月16日	朝日	「まるごと猫展」イベント情報
36	5月22日	毎日	利用「手引き」一新
37	5月27日	西日本	利用「手引き」一新
38	5月28日	毎日	「まるごと猫展」5万人突破
39	5月31日	毎日	ねこ展あす閉幕
40	6月7日	読売	セアカゴケグモ小倉北でも確認
41	6月14日	毎日	ケツアルコアトルス展示
42	6月14日	朝日	ケツアルコアトルス展示
43	6月19日	毎日	モンスター～自然界の怪物たち～
44	6月19日	毎日	憂楽帳：種をまく人(シーダー)
45	6月23日	読売	サイの祖先 日本最古の化石 宗像
46	6月23日	西日本	国内最古 サイの祖先の化石
47	6月23日	朝日	サイの仲間の化石

48	6月23日	毎日	日本最古 サイの化石
49	6月24日	読売	福井の博物館と共同研究 サイの仲間「ヒラキウス」化石発見
50	6月24日	西日本	国内最古 サイ祖先の化石
51	6月24日	毎日	きのうの夕刊から 日本最古サイの化石宗像で発見
52	6月24日	朝日	角ないけどサイの仲間 宗像で化石確認
53	6月24日	朝日	サイ最古の仲間 きょうから展示
54	6月24日	北日本	国内最古サイ祖先化石
55	7月5日	日経	家族で行きたい恐竜、化石博物館
56	7月16日	毎日	リュウグウノツカイ標本展示
57	7月16日	読売	リュウグウノツカイ剥製公開
58	7月18日	読売	夏のレジャー特集
59	7月18日	西日本	「THE モンスター」展紹介
60	7月18日	毎日	「THE モンスター」展紹介
61	7月19日	毎日	「THE モンスター」展紹介
62	7月24日	毎日	「THE モンスター」展紹介
63	7月25日	朝日	「THE モンスター」展紹介
64	7月29日	毎日	「THE モンスター」展紹介
65	8月1日	朝日	「THE モンスター」展紹介
66	8月5日	毎日	「THE モンスター」展 小学生向け講座
67	8月8日	朝日	「THE モンスター」展紹介
68	8月13日	毎日	連載 [1] 史上最大の飛行生物
69	8月13日	毎日	モンスター展来場者5万人
70	8月14日	毎日	連載 [2] 全長18メートルの巨大クジラ
71	8月16日	毎日	連載 [3] 恐竜時代最大海の爬虫類
72	8月17日	西日本	科学の魅力 体験で学ぶ
73	8月17日	毎日	連載 [4] 「キモカワイイ」深海生物
74	8月18日	朝日	北九州で科学広場
75	8月19日	西日本	企画展「軍師官兵衛、九州上陸！！」
76	8月19日	西日本	モンスター展5万人突破
77	8月20日	毎日	連載 [5] 5億年前の最大級捕食動物
78	8月22日	朝日	「THE モンスター」展紹介
79	8月23日	毎日	モンスター展 来場8万人超
80	8月28日	毎日	好評！THEモンスター展
81	8月28日	西日本	北九州市宿泊客13%増
82	9月1日	西日本	「THE モンスター」展紹介
83	9月3日	朝日	官兵衛上陸！！展
84	9月5日	毎日	モンスター展 10万人突破
85	9月5日	朝日	「THE モンスター」展紹介
86	9月19日	朝日	「THE モンスター」展紹介
87	9月22日	毎日	「THE モンスター」展 大人でもわくわく
88	10月18日	毎日	メタルズ!北九州の2博物館 来月から
89	10月23日	毎日	メタルズ北九州展 来月1日開幕
90	10月30日	読売	メタルズ!変容する金属の美
91	10月30日	読売	「メタルズ!」展情報
92	11月1日	西日本	きょうりゅうの王国 (こども記者取材)
93	11月1日	毎日	金属の魅力、名品で
94	11月2日	毎日	メタルズ!展紹介とKIGS来館者50万人に
95	11月6日	西日本	「メタルズ!」展情報
96	11月6日	読売	「メタルズ!」展情報
97	11月9日	読売	ねこの秘密
98	11月13日	読売	「メタルズ!」展情報

99	11月13日	読売	「メタルズ！」展情報
100	11月18日	西日本	古来金属造形逸品 魔鏡など100点紹介
101	11月19日	毎日	全国から集めた名品100点
102	11月20日	読売	「メタルズ！」展情報
103	11月27日	毎日	メタルズ！来月23日まで
104	12月7日	毎日	金属の美テーマに講演
105	12月9日	毎日	子供たちが鉄作りに挑戦
106	12月23日	毎日	メタルズ！展きょうまで
107	12月27日	毎日	恐竜標本を公募 小学生すす払い
108	12月27日	朝日	恐竜すす払い
109	12月27日	西日本	恐竜すす払い
110	1月23日	朝日	化石 実は新種「スッポン」
111	1月23日	毎日	雑記帳：カメ化石
112	1月23日	読売	スッポン類 最古の新種
113	1月23日	西日本	宮若のカメ化石「新種」
114	1月24日	西日本	1億年の時を刻むカメ化石
115	1月24日	産経	約1億2千万年前の甲羅化石 カメは「新種」と判明
116	2月18日	朝日	太古の「スッポン」甲羅
117	2月24日	毎日	「地球からの贈り物展紹介
118	2月26日	毎日	世界の隕石、宝石など800点
119	3月5日	西日本	ダイオウ級新種
120	3月5日	毎日	下顎の化石発見 最大級のイカ
121	3月5日	読売	白亜紀の巨大イカ・タコ
122	3月5日	朝日	史上最大級イカの下あご発見
123	3月6日	毎日	史上最大級・イカとタコの化石発見
124	3月6日	西日本	最大級のイカ・タコの化石
125	3月6日	読売	巨大イカ 8500万年前化石
126	3月6日	産経	最大級イカ・タコ化石 北九州の学芸員ら発見
127	3月6日	日経	最大級イカ・タコ化石
128	3月7日	朝日小学生	イカ・タコ化石
129	3月10日	西日本	新聞くんと語る やはた鉄人列伝 1
130	3月11日	西日本	新聞くんと語る やはた鉄人列伝 2
131	3月13日	西日本	新聞くんと語る やはた鉄人列伝 3
132	3月15日	読売	山根明弘著 『ねこの秘密』 紹介
133	3月16日	西日本	「地球からの贈り物展紹介
134	3月20日	朝日	「地球からの贈り物展紹介
135	3月21日	毎日	「地球からの贈り物」展 きょう開幕
136	3月26日	毎日	石の魅力存分に
137	3月27日	朝日	「地球からの贈り物」展紹介



## (2)平成 26 年度博物館関係報道状況記録(テレビ・ラジオ)

NO.	報道月日	報道社名	番組名など	内 容
1	4月4日	鹿児島MBC	えっちゃんのたんぼぼ倶楽部	「まるごと猫展」イベント情報
2	4月4日他	J:COM	ホームタウン	博物館紹介
3	4月7日	FM島田	昼ドキ!聴かじにゃ〜RADIO	「まるごと猫展」イベント情報
4	4月14日	J:COM	ニュース 55 北九州	「まるごと猫展」イベント情報
5	4月26日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	黒田官兵衛
6	5月5日	KBC	ニュース	沖ノ島の海鳥
7	5月21日	TNC	ももち浜ストアプラス	「まるごと猫展」イベント情報
8	5月24日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	「まるごと猫展」
9	6月7日	南日本放送	どんと鹿児島	恐竜について
10	6月13日	RKB	今日感ニュース	ケツアルコアトルス展示
11	6月17日	NHK	ニュースブリッジ北九州	旧若松市制 100 周年記念展
12	6月23日	RKB, FBS, TNC, TVQ, NHK	ニュース	日本最古 サイの化石
13	6月27日	NBC	おでかけサプリ	日本最古 サイの化石
14	6月28日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	版画家片山正信が描いた「若松風景」
15	7月4日	NHK 佐賀	報道フロンティア	燃料電池自動車の普及について
16	7月15日	RKB	今日感ニュース	リュウグウノツカイ標本展示
17	7月16日	FM KITAQ	ディスカバーKITAQ	「THE モンスター展」紹介
18	7月18日	RKB, TNC	今日感テレビ	「THE モンスター展」開幕
19	7月19日、20日	RKB	今日感ニュース	「THE モンスター展」紹介
20	7月20日	RKB	RKB ラジオ	「THE モンスター展」紹介
21	7月21日	PKB, NHK	お昼のニュース	「THE モンスター展」紹介
22	7月26日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	「THE モンスター」展
23	8月6日他	KBC	水と緑のキャンペーン	「水と緑のキャンペーン」ダンス出演
24	8月1日	FBS	NEWS5 ちゃん	「THE モンスター展」紹介
25	8月8日	NHK	ニュース 55 北九州	「THE モンスター展」紹介
26	8月11日	cross FM	イブニングライン北九州	「THE モンスター展」紹介
27	8月19日	FBS	NEWS5 ちゃん	アンモナイト
28	8月23日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	「THE モンスター」展
29	8月28日	J:COM	ニュース 55 北九州	「THE モンスター展」紹介
30	8月31日	TVQ	TXNNEWS	「THE モンスター展」紹介
31	9月(4回)	広島・西日本テレビ	福岡を創った男 黒田官兵衛	「官兵衛上陸!展」紹介
32	9月4日、15日	RKB	ひるおび	「THE モンスター展」来場者10万人達成
33	9月17日	KBC	もの見遊さん	博物館紹介
34	9月27日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	黒田官兵衛九州上陸〜黒田孝高・長政と北九州
35	10月4日	TVQ九州放送	ぐっ!ジョブ	小倉織
36	10月25日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	ジオパーク
37	10月31日	南日本放送	えっちゃんのたんぼぼ倶楽部	「メタルズ!」展紹介
38	11月1日	Star Hub	Welcome Nippon	博物館紹介
39	11月2日他	cross FM	北九魂	「メタルズ!」展紹介
40	11月3日	RKB	今日感テレビ	当館の人気の秘密を探る
41	11月22日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	「メタルズ!—変容する金属の美—」展
42	11月30日	NHK	官兵衛紀行	黒田二十四騎図
43	12月7日	NHK	昼・タニュース	メタルズ展会場撮影、見どころ解説
44	12月21日	RKB	ももち浜ラジオプレイヤーズ	クリスマス企画と正月企画のPR
45	12月24日	RKB	豆ごはん	所蔵品(若松・戸畑市鳥瞰図)撮影
46	12月26日	FBS	NEWS5 ちゃん	恐竜すず払い
47	12月27日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	セカンドスクール事業

48	12月28日	NHK	投稿 DO 画	ねこサークルの理由についてインタビュー
49	1月1日他	J:COM	発見！筑紫の歴史 時空の旅人	福岡藩と明治維新
50	1月16日	LOVE FM	Top Of The Morning	企画展「さぐってみよう 昔のくらし」
51	1月21日	RKB	豆ごはん	知ってそうで知らない博物館
52	1月22日	FBS	めんたいワイド	博物館の裏側に潜入
53	1月23日	NHK, RKB	昼・タニュース	カメ化石
54	1月24日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	企画展「檻樓の世界」
55	1月30日	テレビ宮崎	UMK情報 net3 きゅう	博物館紹介
56	2月13日他	J:COM	山田としあきのひと駅歩こう	博物館紹介
57	2月18日他	J:COM	ニュース 55 北九州	室内講座「小さな化石にふれてみよう！」
58	2月21日	TVQ	土曜の夜はおとななテレビ	直方隕石について
59	2月24日他	TBS	所さんのニッポンの出番	日本人と猫
60	2月28日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	仁川広域市の都市発展写真展
61	3月4日、5日	KRY	おはよう KRY	料理屋お菓子のルーツを教えて（1）
62	3月5日、6日	NHK	ニュースブリッジ北九州	イカ・タコ化石
63	3月5日	RKB, FBS, TNC, KBC	ニュース	イカ・タコ化石
64	3月10日	日本テレビ	Z I P !	イカ・タコ化石
65	3月15日	NHK	ニュース（夕方）	企画展「檻樓の世界」
66	3月20日	NHK	ニュース（夕方）	博物館紹介（タイの撮影チームと同伴）
67	3月28日	NHK	ニュース（昼・夜）	「地球からの贈り物」展紹介
68	3月28日	Air Station Hibiki	RADIO PARTY	「地球からの贈り物」展

## 9. 特別展

### (1) 「まるごと猫展」

- 期 間**：平成 26 年 3 月 15 日（土）～平成 26 年 6 月 1 日（日）  
79 日間（前年度からの継続事業）
- 会 場**：ギャラリー一館
- 入 場 料**：大人 700 円（団体 560 円）、高・大生 400 円（同 320 円）、小・  
中生 300 円（同 240 円）、未就学児無料
- 観覧者数**：54,700 人（前年度入場者含む）
- 担当学芸員**：山根明弘、馬場稔、富岡優子
- 主 催**：北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社、
- 後 援**：福岡県教育委員会、NHK 北九州放送局、九州旅客鉄道株式  
会社、公益社団法人北九州市獣医師会
- 協 力**：則武広和、黒住隆子(BAOBAB)、大久保京(書肆 吾輩堂)、群馬  
大学総合情報メディアセンター、永尾まる(少年画報社「ねこパンチ」)、  
加藤豊(レフティレックス)、木村道子(工房・海猫舎)、原口緑郎・美智代(猫新聞社)、長崎の町ね  
こ調査隊塾、北九州市立美術館、福岡県立八幡高等学校、落合延孝、環境省対馬野生生物保護セ  
ンター、環境省西表野生生物保護センター、竹富町教育委員会、琉球大学哺乳類生態研究室、産  
業医科大学、和田直己(山口大学共同獣医学部生体システム科学)、公益財団法人福岡文化財団



#### 概 要

「猫」は人と暮らし始めて約 1 万年もの時間が経過したにも関わらず、野生のハンターとしての身体能力を、ほぼ完全な状態で持ち続けている。人は、このような猫の姿に惹かれ、共に生活するなかで、招き猫をはじめとする様々な猫文化、さらには猫をモチーフとした絵画などの芸術作品までもを生み出してきた。本展では、生物学的、文化的、芸術的、そして社会的な側面から猫に焦点をあてた展示を行った。入場者数はこれまでの春の特別展記録を更新し、また、大人の女性の入場者が全体の約半数を占めるなど、これまではない新たな展示のあり方を示唆する特別展となった。

#### 主な展示標本

優れたハンターとしての生物学的な側面を、ライオン、トラ、チーター、ジャガーなどのネコ科動物の剥製標本や骨格標本の展示によって解説した。また、我が国の絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコやツシマヤマネコの剥製標本の展示も行い、保全活動等の紹介も行った。そして、猫カルチャー・猫アートのコーナーでは、人と猫との関係の深さを物語る幅広いジャンルの資料を展示した。例えば、全国各地の約 170 体の招き猫をはじめ、猫がデザインされたレコードジャケット（ネコード）、明治大正期の猫柄のマッチラベル、新田岩松家の殿様の猫絵、人気の猫漫画の原画、北九州市立美術館より借用した歌川国芳の浮世絵等、蒐集家からの借用品を中心とした約 600 点もの資料を展示した。さらには、現在、市民レベルで行われている長崎の町ねこ調査、そして当館学芸員によるノラネコ研究の紹介など、今を生きる猫たちの素顔にも迫った。

#### 関連事業

常設展では、動物写真家の岩合光昭氏の写真展「ねこ歩き」も同時開催した。イベントでは、市民からの愛猫の写真を展示した「みんなの猫ギャラリー」、ライオンの剥製に乗れる「らいおんにライドオン!」、「岩合光昭氏のギャラリートーク&サイン会」、蒐集家による「ねこマニアトーク」等を実施した。（山根明弘）



## (2) 「THE モンスター展～自然界の怪物たち～」

**期 間**：平成 26 年 7 月 19 日（土）～平成 26 年 9 月 23 日（火・祝） 67 日間

**会 場**：ギャラリー館

**入 場 料**：大人 800 円（団体 640 円）、高・大生 500 円（同 400 円）、小・中生 300 円（同 240 円）、未就学児無料

**観覧者数**：117,585 人

**担当学芸員**：大橋智之、他自然史課学芸員

**主 催**：北九州市立いのちのたび博物館（自然史・歴史博物館）、毎日新聞社、RKB 毎日放送

**後 援**：福岡県教育委員会、NHK 北九州放送局、日本古生物学会

**特別協賛**：全労済福岡県本部

**協 賛**：公益財団法人福岡文化財団

**協 力**：ロイヤル・ティレル博物館、福井県立恐竜博物館、名古屋大学博物館、産業医科大学、船の科学館・海と船の博物館ネットワーク、海洋研究開発機構(JAMSTEC)、到津の森公園、ビッグベアーズフーズサービス



### 概 要

生物の大きさの不思議を絶滅種・現生種の巨大な生物の展示、同じ分類群の大きな種と小さな種の比較展示、自分自身と大きさを比べられる展示を通して理解していただくことを目的とした特別展。海（水域）、陸、空の生息環境ごとに展示エリアを分けて展示し、世界初公開の標本展示をはじめ昆虫や植物、カメなどは生体飼育展示を実施した。夏の特別展では3年連続で観覧者数10万人を突破した。

### 主な展示標本

世界初公開となる全長約21メートルの魚竜シヨニサウルスの頭骨復元、若松区で捕獲された全長4.3メートルのリュウグウノツカイ剥製、全長約2メートルのアノマロカリス生体復元、全長約18メートルのクジラ類バシロサウルス全身骨格レプリカ、翼開長10メートルの翼竜ケツアルコアトルス生体復元、世界最大の花ラフレシアレプリカ、ダイオウグソクムシなど深海生物、魚類カラモプレウルスやアンモナイトなどの化石、現生鳥類、現生哺乳類骨格など、各種標本を約100点展示。

### 関連事業

7月25日（金）にはナイトミュージアムを8月24日（日）には福岡ハイドン弦楽四重奏団による恐竜コンサートを開催した。期間中3回、特別展会場内で学芸員によるギャラリートークを開催した。8月4日（月）と8月7日（木）には連続講座として学芸員による自由研究向けの講座を開催した。また常設展の展示標本にも特別展と関連した「サイズ」に関するパネルを設置した他、自然学習園で巨大カボチャ栽培を行った。（大橋智之）



### (3) 「メタルズ！—変容する金属の美—」

**期 間**：平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 26 年 12 月 23 日（火・祝） 53 日間

**会 場**：ギャラリー館、北九州イノベーションギャラリー

**入 場 料**：大人 800 円（団体 640 円）、高・大生 500 円（同 400 円）、小・中生 300 円（同 240 円）、未就学児無料

**観覧者数**：11,448 人

**担当学芸員**：松井和幸、宮元香織

**主 催**：北九州市立いのちのたび博物館、北九州イノベーションギャラリー、メタルズ！実行委員会、毎日新聞社

**共 催**：NHK プラネット九州、九州工業大学工学部マテリアル工学科

**後 援**：福岡県教育委員会、朝日新聞、西日本新聞社、読売新聞社、NHK 北九州放送局、FBS 福岡放送、九州朝日放送、RKB 毎日放送、株式会社テレビ西日本、株式会社 TVQ 九州放送、株式会社ジェイコム九州、cross fm

**助 成**：一般財団法人地域創造

#### 概 要

本特別展では、京都国立博物館をはじめ全国 30 余の博物館・美術館の協力で、古代から現代に至るさまざまな金属造形、金属工芸の名作約 130 点を紹介した。古代から幕末・明治までは、金属作品を「飾るもの」「使うもの」に分けて捉え、その中の優品に金属の性質・機能がどのように生かされているか見ていき、近現代では、輸出工芸の精緻で奇抜な様相から、近代彫刻、近代工芸の分岐と発展を、「具象」「抽象」「器物」に分けて展示した。当館以外に、富山県・高岡市美術館、愛知県碧南市・藤井達吉現代美術館、新潟県・新津市美術館の金属にゆかりの深い全国 4 つの博物館・美術館が連携して実現した展示会である。北九州会場では、初めての試みとして、いのちのたび博物館と北九州イノベーションギャラリーが共同で展示を行った。

#### 主な展示資料

考古資料（古代青銅器、貨幣、鏡）、伝世資料（仏具、刀装具、建築金具）、工芸品（彫金、輸出工芸品）、近代の金工表現と現代作家の金属造形、現代工業製品にみるデザイン・アートなど

#### 関連事業

金属に関するワークショップとして、11 月 1 日に「私だけの印鑑作り」、11 月 29 日に「七宝焼き体験」、11 月 30 日に「東田たたら」（他団体と共催）、12 月 20 日に「リモナイトによる鉄づくり」、11 月 2 日、3 日、16 日、23 日、12 月 7 日、14 日、23 日（全 7 日間）に「和同開珎の作り方」を実施した。記念講演会としては 12 月 6 日に高岡市美術館館長村上隆氏による「変容する金属の美」をおこなった。ほかに A4 版、カラー 130 頁の図録「メタルズ！変容する金属の美」（メタルズ実行委員会発行）を刊行した。

（松井和幸）



会場風景（いのちのたび博物館会場）



会場風景（イノベーションギャラリー会場）

#### (4)「地球からの贈り物～石の美と魅力～」

**期 間:**平成 27 年 3 月 21 日(土・祝)～平成 27 年 5 月 10 日(日)  
51 日間 (次年度への継続事業)

**会 場:**ギャラリー館

**入 場 料:**大人 500 円(団体 400 円)。高・大生 300 円(同 240 円)、  
小・中生 200 円(同 160 円)、未就学児無料

**観覧者数:**26,182 名(次年度終了時点)

**担当学芸員:**森 康、宮元香織

**主 催:**北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社

**協 力:**伊都国歴史博物館、糸島市教育委員会、ウイステリアジ  
ュエリーメイキングスタジオ、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、  
鹿児島県教育委員会、香春町教育委員会、北九州市芸術文化  
振興財団埋蔵文化財調査室、北九州市立いのちのたび博物館  
自然史友の会、九州産業大学芸術学部金属工芸研究室、佐賀県教育委員会、産業技術総合研究所  
地質標本館、直方市教育委員会、福岡教育大学美術教育講座金属工芸研究室、福岡県教育委員会、  
福岡市教育委員会、文化庁、南さつま市教育委員会、宗像市教育委員会



#### 概 要

鉱物の多様性と人との関係をテーマに、特に「美しさ」と「魅力」をキーワードとした特別展である。自然史の側面からは、隕石・岩石・鉱物の標本を展示して自然の造形美を紹介したほか、鉱物を作り出す地学現象を解説した。歴史および人文の側面からは、石製玉類などの考古遺物、現代の宝石および原石、金属鉱石および金属工芸作品などを展示し、人が鉱物に抱く魅力について話題を展開した。1,000 点を越えるバラエティ豊かな展示物を展示したことで自然史と歴史を融合させた斬新な内容となったため、幅広い年代と客層の来館者を得られた。また、来館者の滞在時間が従来の特別展に比べて長く、高い関心を集めたことがうかがえる。

#### 主な展示標本

地球の形成史や大地の躍動を解説する資料として、太陽系最古の鉱物粒子を含むアエンデ隕石、地球最古の大陸地殻であるアカスタ片麻岩など、隕石・岩石標本約 100 点を展示した。鉱物の多様性と美しさを解説する資料として、水晶の“ハート型”日本式双晶や輝安鉱の大型結晶を含む鉱物標本約 600 点を展示した。鉱物と人との関係を解説する資料として、九州出土の代表的な玉類など約 80 件(国指定重要文化財 11 件を含む)、カット石など宝石関連資料約 230 点、福岡在住の金工作家の作品など金属関連資料約 30 点を展示した。このほか、ハンズオン資料 4 点、小惑星イトカワ関連資料 4 点(会場外)を展示した。

#### 関連事業

会場にて「ナイトミュージアム～闇夜に輝く秘宝を探せ!～」を 3 回、ガイドツアー「鉱物のひ・み・つ」および「ヒスイのひ・み・つ」を各 8 回実施した。実習室における室内講座として「小さな鉱物を大きく見よう」を 1 回、「ガラス玉をつくって!まなぶ!」を 3 回、「勾玉をつくって!まなぶ!」を 2 回実施した。

(森 康)



## 10. ぽけっとミュージアム：企画展・テーマ展等

### (1) 企画展「石炭の港町若松の風景」

**期 間** 平成26年6月7日(土)～7月28日(月)

テーマ展 平成26年6月7日(土)～

**会 場** ぽけっとミュージアムNo.9～11

テーマ展 テーマ館「明治時代以降の北九州」

**入場料** 常設展入場料で観覧可能

#### 概 要

旧若松市制100周年を記念し、企画展「版画家片山正信がえがく「若松百景」」では若松で活躍した版画家片山正信氏がえがいた『若松百景』全100点を展示した。作品は昭和40年代前後に石炭から石油へのエネルギー革命により「石炭の港町」としての繁栄が失われ、若松が大きく変貌していく時代の風景を愛着と哀惜をもってえがいている。

テーマ展「地図・写真に見る若松100年」では若松市の地図や写真、関係資料を展示し、「石炭の港町若松」の歩みを振り返った。



(日比野利信・中西義昌)

### (2) 「黒田官兵衛、九州上陸！！—官兵衛・長政と北九州—」

**期 間**：平成26年8月1日(金)～11月16日(日)

前期：8月1日(金)～9月28日(日)

後期：10月4日(土)～11月16日(日)

**会 場**：歴史ぽけっとミュージアムNo.9～11

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

#### 概 要

豊臣秀吉が天下統一を進めた時代、黒田官兵衛(1546～1604)は秀吉の配下として活躍し、後の福岡藩藩祖となった人物である。「軍師」としてのイメージが強い官兵衛だが、九州ではもっぱら戦場で陣頭指揮を執り、敵方の城を攻略する武将として活躍した。北九州と関わりの深い黒田官兵衛と黒田家を、最新の研究成果から紹介した。

前期は、春日神社所蔵の「黒田二十四騎画像24幅」を一堂に公開するなど約65点の資料を展示した。北九州市黒崎の春日神社では江戸時代から官兵衛の後継者・黒田長政を「黒田大明神」、二十四騎を「邦守霊神」と称し、神として祀っている。その信仰は春日神社の版木で刷られた「黒田二十四騎図」によって福岡藩内に広まった。北九州・黒崎が黒田二十四騎信仰発祥の地であったことを中心に、官兵衛・長政と二十四騎一人ひとりの活躍ぶりを紹介した。

後期は、「官兵衛活躍の地は北九州にあり」として、天正14年(1586)10月の九州上陸戦や関ヶ原合戦時の小倉城攻略など、北九州を舞台とした官兵衛の戦いに焦点をあてた。「麻生文書」に伝わる豊臣秀吉や黒田官兵衛らの書状をはじめ、「黒田如水肖像」・「井上之房肖像」(龍昌寺蔵)などの資料約50点を一挙公開し、知将官兵衛の北九州での活躍を明らかにした。



(守友 隆・中西義昌)

### (3) テーマ展「軍師黒田官兵衛ゆかりの名宝」

**期 間**：平成26年4月1日（火）～12月28日（日）

**会 場**：歴史ゾーン テーマ館

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

#### 概 要

北九州市の八幡東・西、戸畑、若松各区は江戸時代、福岡藩黒田家領であった。そのため、当館には黒田官兵衛（福岡藩祖）・長政（初代藩主）父子とその主要な家臣「黒田二十四騎」の資料を収蔵している。そこで当館所蔵の主要な黒田氏関係資料を精選し、その価値や魅力をわかりやすく解説し、北九州市と黒田官兵衛との関わりを明らかにした。



(守友 隆)

### (4) 第3回東アジア友好博物館巡回企画展「モダン仁川画」

**期 間**：平成26年12月6日（土）～平成27年1月12日（月）

**会 場**：ぼけっとミュージアムNo.9～11

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

#### 概 要

ポスター、パンフレット、地図、絵葉書などさまざまな印刷物の挿絵資料により、近代都市仁川の発展がどのように表現され、伝達されたか、またそのイメージがどのように重要されたか探るもの。「東アジア友好博物館交流事業」（23頁参照）の一環として行われる巡回企画展で、今回（第3回）は仁川アジア大会開催記念展として仁川広域市立博物館が企画、当館と旅順博物館に巡回した。

韓国の近代は日本によって「開国」し、日本によって「併合」された歴史であった。本展で紹介したさまざまな印刷物とその挿絵は「日本人」による「日本人」のための創作物で、都市的な生活文化を営んだのも多くは「日本人」であった。そこには「韓国人」が生活する姿はえがかれぬか、異国趣味を強調する点景として添えられるだけだった。それこそが植民地都市「モダン仁川」の風景であることが浮き彫りになった。



(日比野利信)

### (5) 「堀切辰一コレクション 襦袢の世界～晴着・外出着から普段着まで～」

**期 間**：平成27年1月17日（土）～4月6日（月）

**会 場**：歴史ぼけっとミュージアム No. 9～10

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

#### 概 要

平成14年度より16年度にかけて『時代布目録 襦袢』を刊行し、その続編として平成25年度に『時代布目録 続編第1巻』、平成26年度に『時代布目録 続編第2巻』を刊行した。これを記念して、続編第1巻および第2巻の中から「晴着」「外出着」「普段着」の3部構成で、16点を展示した。

「晴着」では、絹地祝着や麻地祝着などの一般的な晴着に加え、木綿や寄せ縫いの晴着など庶民の晴着を紹介した。「外出着」では、よそ行きでありながらも刺し子や継ぎ接ぎが施されたものも多くあったことを紹介するとともに、そこに込められた作り手の美意識について注目した。「普段着」では、修繕や再利用されながら着継がれる衣文化を紹介した。



(上野晶子)



## (6) 「さぐってみよう昔の暮らし」

**期 間**：平成27年1月17日（土）～4月6日（月）

**会 場**：歴史ぽけっとミュージアム No.11

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

### 概 要

小学校社会科単元「さぐってみよう昔の暮らし」に即し、地域の人々の生活について、古い道具やそれを使っていた頃の暮らしの様子についての展示を行った。展示資料は小学3年生の社会科単元への活用をふまえ、教科書に内容にそって明治から昭和にかけての生活道具類を選定した。展示では、昔の暮らしの様子をイメージできるように昭和の居間を再現した。また、時代とともに道具の形や機能が変わったことを示す資料として「洗濯」に注目し、洗濯板、手回し洗濯機、二層式洗濯機を展示した。さらに、現在の道具と比べたクイズパネルやハンズオンとして「火のし」と「黒電話」を用意し、現在使用している道具との違いや使い方を考えさせる工夫を行った。



(ミュージアムティチャー・上野晶子)

## (7) 「パネル展示 明治日本の産業革命遺産」

**期 間**：平成26年4月17日（木）～

**会 場**：文化学習園前通路スペース

**入場料**：常設展料金のみで観覧可能

### 概 要

「明治日本の産業革命遺産群」は、九州・山口とその関連地域を中心に、我が国で急速な産業化の歴史を伝える23箇所の歴史遺産から構成される。この内、北九州市と隣接する中間市には「官営八幡製鐵所関連資産」（旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場・遠賀川水源ポンプ室）が含まれる。

今回の展示は、2015年度の世界文化遺産委員会に向けて我が国の推薦候補に決定したことを受けて、世界遺産推進室の協力のもと、北九州市における世界文化遺産登録の取り組みを周知し、その機運を高めるためにパネル等を用いて行った。内容は①世界文化遺産の概要、②「明治日本の産業革命遺産群」の構成資産の紹介、③「官営八幡製鐵所関連資産」（旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場と遠賀川水源ポンプ室）の紹介、④八幡地区の近代化遺産の紹介で構成した。多くの来館者に、北九州市から世界文化遺産登録の取り組みを広く紹介することができた。



(中西義昌)

## (8) 自然史ぽけっとミュージアム展示

**期 間**：継続中

**会 場**：ぽけっとミュージアム No. 1～8

### テーマ

ぽけっとミュージアム No. 1：地球と生命

ぽけっとミュージアム No. 2：細胞のひみつ

ぽけっとミュージアム No. 3：大連市との交流

ぽけっとミュージアム No. 4：アンモナイト

ぽけっとミュージアム No. 5：世界の海の貝

ぽけっとミュージアム No. 6：カエルとサンショウウオ

ぽけっとミュージアム No. 7：昆虫の世界

ぽけっとミュージアム No. 8：きたきゅうしゅうの多様な大地、地震のしくみ

## (9) 干支展示

**期 間**：平成 26 年 12 月 26 日 (金)～平成 27 年 1 月 15 日 (木)

**会 場**：エントランス

**入場料**：無料

### 概 要

平成 27 年の干支であるヒツジの剥製と頭骨を展示した。また、ヒツジに似た角を持つエジプトの神アモンに因んで名前が付けられたアンモナイトも展示した。

(馬場 稔・御前明洋)



## (10) 特別公開展示

### 内容・期間

北九州市産の角竜化石

平成 26 年 4 月 4 日 (金)～平成 26 年 6 月 1 日 (日)

宗像市産のサイ上科の化石

平成 26 年 6 月 24 日 (火)～平成 26 年 9 月 23 日 (火)

宮若市産の新種カメ化石

平成 27 年 1 月 23 日 (金)～平成 27 年 3 月 8 日 (日)

史上最大級のイカ類とタコ類の化石

平成 27 年 3 月 6 日 (金)～平成 27 年 5 月 10 日 (日)

※次年度へ継続

**会 場**：エントランス

**入場料**：無料

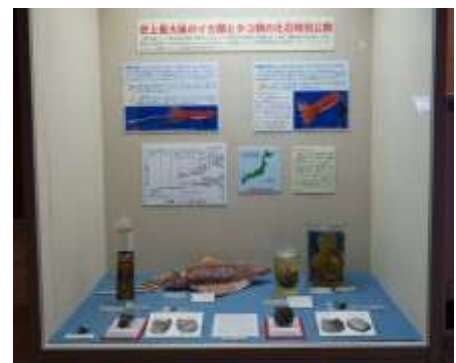
### 概 要

論文や学会で発表された話題性のある化石 (いずれも当館所蔵標本) を展示した。

(大橋智之・御前明洋)



宗像市産のサイ上科の化石



史上最大級のイカ類とタコ類の化石

## 1 1. その他の事業

### (1) 東アジア友好博物館交流事業

当館は北九州市の姉妹都市韓国・仁川広域市の仁川広域市立博物館、友好都市中国・大連市の旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」を締結し（平成22年11月5日）、原則的に毎年館長会議を開催するとともに、学芸員派遣事業や展示交流事業などを継続的に実施している。

平成26年度は第5回実務者会議（館長会議事前協議）が平成26年7月16日に、第4回館長会議が10月22日に、ともに仁川広域市立博物館で開催された。実務者会議には山家副館長と上野学芸員が、館長会議には伊藤館長と日比野歴史担当係長、上野学芸員が出席した。

館長会議では「合意書」の有効期間（5年間）が平成27年11月4日をもって終了するに伴って、新たに「協議書」を締結して交流を継続・推進することで合意し、内容・文案について協議を行った。新協議書は平成27年秋に旅順博物館で開催予定の第5回館長会議で正式に締結されることになる。また新協議書にもとづいて行う交流事業として、ゆるやかな統一テーマを設定し、企画館所蔵の実物資料を中心に企画展を構成して、他2館にも巡回する「巡回展」を開催することで合意し、その内容や方法について検討した。

また第3回の巡回企画展として、仁川広域市立博物館がアジア大会記念展として企画した「モダン仁川画」展を旅順博物館および当館に巡回、当館では平成26年12月6日から平成27年1月12日まで開催した。（詳細は20頁参照）。

（日比野利信）



実務者会議（仁川広域市立博物館）



館長会議（仁川広域市立博物館）

## (2) ジオパーク活動推進事業

平成 26 年度は、市民のジオパーク概念認知が不十分であることをうけ、市民へのジオパーク概念の周知を主目的として普及講座等を重点的に実施した。また、北九州ジオパーク構想に関するホームページの開設および市内の地質遺産等を紹介するパンフレット「3 億年の時間旅行・ジオサイトガイド」を作成した。

さらに、日本ジオパーク認定の重要な要件の一つである地域間ネットワーク構築への協力および他地域の活動状況等の情報収集のため、九州ジオパーク連絡会等に参加するとともに、香港世界ジオパーク関係者（シニアジオパークレンジャー）1 名の研修を受け入れた。

主要事業と経過

- 1) 北九州ジオパーク推進連絡会（庁内調整会議）の実施：平成 27 年 3 月 17 日
- 2) ジオパーク普及講座の実施：  
講演会・室内講座（3 回実施）  
野外観察会（ジオツアー、ジオハイキング：8 回実施、雨天中止 2 回）  
参加者合計 234 名
- 3) ジオサイトガイド（ジオパーク活動周知および代表的なジオサイト案内パンフレット）の作成



- 4) ジオパーク活動周知用ホームページの公開 (<http://www.kitakyushu-geo.jp>)
- 5) 第 6 回九州ジオパーク連絡会（平成 26 年 8 月 2 日）および第 7 回九州ジオパーク連絡会（平成 27 年 2 月 7 日）参加
- 6) 関連活動
  - ・九州ジオパークフェスタへの参加（平成 26 年 8 月 3 日）
  - ・おおいた姫島ジオパーク黒曜石フォーラム（平成 26 年 12 月 7～8 日）ポスター参加
  - ・香港世界ジオパーク関係者研修受入（平成 26 年 11 月 3～5 日）



ジオツアー「化石とビオトープと未来環境」



北九州ジオパーク推進講演会

（太田泰弘、馬場 稔）

### (3) NPO 協働提案モデル事業

本事業は、北九州市市民文化スポーツ局市民活動推進課による補助事業で、市が設定したテーマに対して、NPO 法人又は市民活動団体の新しい発想や専門性を活かした提案を募集し、提案団体と市が協働してその事業に取り組むことにより、地域課題の解決やまちの活力向上を効果的・効率的に図ることを目的としている。

北九州市では、基本構想・基本計画の柱の一つである「暮らしを彩る」主要施策の一つとして、「地域における伝統文化の発掘・継承」に取り組んでいる。また博物館では、これまで企画展や普及講座を通して伝統文化を知る機会を提供してきた。本事業においては、子どもや学生などの次世代が地域の伝統文化の継承と発展を図り、都市ブランドの構築に寄与するとともに、郷土を愛する人材を育成するため、「北九州市の伝統文化の歴史や魅力を市民に広め、特に次世代に伝えていくための取り組み」をテーマとして設定した。それに対し、小倉織協議会より「北九州市の伝統布・小倉織を守り伝えよう」とする事業の提案があり、採択された。

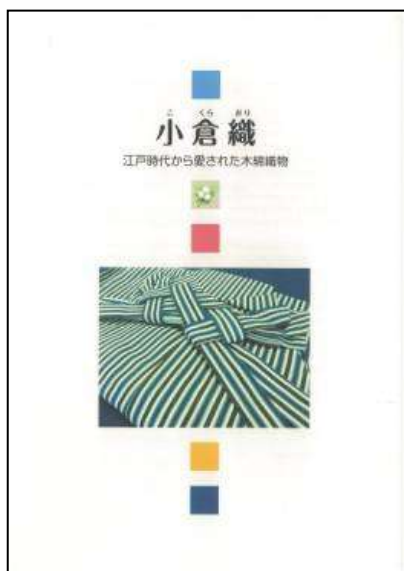
小倉織は江戸時代初期から豊前小倉地域の名産として制作された綿織物で、厚手で丈夫な布として全国へ普及したが、昭和初期には生産が途絶えていた。近年、小倉織協議会を中心に、その製作技術の研究や創作活動が行われており、郷土の織物である小倉織を継承することを目的として、小倉織の歴史や文化、製作についての概要をまとめた「ガイドブック」を作成した。ガイドブックの構成は、

- I 歴史を辿る：豊前小倉から全国へ普及した小倉織の歴史や現存する資料の紹介
- II 小倉織の特徴：丈夫な綿織物を作り出す糸の特徴と縞柄のデザイン
- III 小倉織をつくる：ワタから糸を紡ぎ、染め、織るまでの工程
- IV 現代の小倉織：小倉織を製作・研究する現在の活動を紹介

の4部構成とした。

ガイドブックの製作過程においては、小学校中学年を対象に、読みやすさや見やすさなどを検証するワークショップを実施した。また、ワークショップを通して、冊子を活用した授業や講座の可能性について検討した。これらの検証を通して、ガイドブックには写真やイラストを多用し、漢字にルビをふるなど、子供でも読める工夫をした。また、学校の授業で活用できるよう、総合的学習をはじめ、社会科や理科、国語の授業の中で小倉織を活用する授業提案を作成し、冊子とともに市内すべての小・中学校へ配布した。

(上野晶子)



ガイドブック表紙  
(A4・32頁、カラー)



ワークショップ風景

#### (4) ユニバーサルミュージアム化事業

##### 概要

国際的な文化の交流・発信の拠点として国内外の来館者から幼児から大人まで、また障害者の方にまで開かれた、知的アクセス権の保障された博物館を目指してユニバーサルミュージアム化事業を実施した。課題抽出と問題点の洗い出しを行い、試作品の作成と実施実験を行った。

具体的には、1) 展示解説の多言語化、2) 障害者に対応した触れる展示および展示解説の提供、3) 低年齢層をターゲットとしたこどもミュージアムワークショップの実施実験、4) 博物館の展示室と学校の教室をつなぐ遠隔授業の実施実験を行った。

**期 間**：平成 26 年 8 月 6 日（水）～平成 27 年 3 月 27 日（金）

**事業実施者**：ユニバーサルミュージアム化事業実行委員会

委員長	伊藤明夫	北九州市立自然史・歴史博物館館長
副委員長	北原 守	北九州市障害福祉団体連絡協議会会長
副委員長	高原義弘	公益財団法人北九州国際交流協会専務理事
監事	上山敬義	北九州市立高等学校校長
監事	沼田文子	元北九州市立自然史・歴史博物館 ミュージアムティーチャー
	一色博美	北九州市立小森江西小学校校長
	占部秀一	北九州市立塔野小学校校長
	千々和隆生	北九州市立本城中学校校長
	大友 進	北九州市立東郷中学校校長
	山家桂一	北九州市立自然史・歴史博物館副館長

＊所属・役職は当時

**事務局**：事務局長；山家桂一、庶務課長；永元博文、事業課長；真鍋 徹、松井和幸、庶務係長；竹中雅則、事業係長；下村通誉、日比野利信、庶務係員；神谷孝次、事業係員；宮元香織、大橋智之、上野晶子、蓑島悠介、事業補助員（臨時職員）；川端深香

**補助金名称**：平成 26 年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）

**総事業費**：34,079 千円（うち、国庫補助額 31,200 千円）

**事業実施協力**：北九州障害福祉団体連絡協議会、公益財団法人北九州国際交流協会、福岡県立北九州視覚特別支援学校、北九州市立伊川小学校、西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科

##### 結果

事業は全てワークショップ形式で行われ、事前課題抽出、実施・実証実験、効果の検証、改良版の試作・検討のいずれかの過程を経て実施した。それぞれ、ワークショップは柱ごとに 1) はのべ 5 回、2) はのべ 16 回、3) はのべ 3 回、4) はのべ 3 回行った。実行委員会会議は 4 回開催した（平成 26 年 8 月 6 日、12 月 25 日、平成 27 年 2 月 24 日、3 月 27 日）。

当博物館のユニバーサル化に向けて抱えている現状の課題の抽出と整理を行い、それらのいくつかについては当該年度中に対応および試作品の作製を行った。これにより、国際的な文化の交流・発信の拠点として国内外の来館者から幼児から大人まで、また障害者の方にまで開かれた博物館に一歩近づくことができたといえる。



階段視認性検証



ピクトグラム試作品検証



ピクトグラム改良試作品



券売機多言語表記



音声ガイド (5種) 試作品



固定情報端末視認性・操作性検証



音声ガイド試作品検証



携帯情報端末視認性・操作性検証



館内利用案内試作品検証

ワークショップ等の実施状況は下記のとおりである。

- 平成 26 年 8 月 28 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会課題提案聞き取り調査  
 9 月 5 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会課題抽出ワークショップ  
 9 月 25 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会課題抽出結果聞き取り調査  
 10 月 2 日 音声ガイド設置実証実験  
 10 月 8 日 福岡県立北九州視覚特別支援学校教諭課題抽出ワークショップ  
 10 月 10 日 北九州国際交流協会課題提案聞き取り調査  
 10 月 15 日 東田地区まちづくり道路バリアフリー確認  
 10 月 27 日 国際交流協会事前課題抽出ワークショップ  
 11 月 7 日 福祉のまちづくり大都市連絡会議議題提案・意見交換  
 11 月 19 日 福岡県立北九州視覚特別支援学校教諭課題抽出結果聞き取り調査  
 11 月 27 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会試作品聞き取り調査  
 12 月 5 日 館内サイン西日本工業大学現地確認調査  
 12 月 11 日 学芸員研修交流会意見交換  
 12 月 17 日 館内サイン・階段視認性・字幕課題抽出ワークショップ
- 平成 27 年 1 月 21 日 福岡県立北九州視覚特別支援学校課題抽出ワークショップ  
 1 月 22 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会試作品聞き取り調査  
 1 月 28 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会試作品検証ワークショップ  
 2 月 10 日 北九州市立伊川小学校遠隔講座  
 2 月 16 日 多言語対応試作品検証ワークショップ  
 2 月 18 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会視覚障害対応試作品検証ワークショップ  
 2 月 19 日 北九州市障害福祉団体連絡協議会聴覚障害対応試作品検証ワークショップ  
 3 月 15 日 こどもミュージアムワークショップ

また、本事業を効果的に進めるためにユニバーサルデザイン等に先進的な国内外の博物館・施設の視察を、下記のとおり行った。

- 平成 26 年 9 月 18 日～20 日 韓国他館事例調査（西大門自然史博物館、国立民俗博物館、国立生物資料館、国立中央博物館、ソウル歴史博物館）  
 10 月 26 日 「さわって観る富嶽三十六景」展  
 11 月 17 日 福岡市博物館  
 11 月 19 日 北九州市立点字図書館  
 12 月 11 日 長崎歴史文化博物館
- 平成 27 年 1 月 18 日 九州国立博物館館内調査  
 1 月 18 日 九州産業大学国際フォーラム参加  
 1 月 29 日～30 日 関西他館事例調査（和歌山県立博物館、三重県総合博物館）  
 2 月 3 日～5 日 関東他館事例調査（東京国立博物館、国立科学博物館、国立歴史民俗博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、東京都美術館、オリエンタルランド）



映像字幕試作品検証

本事業はワークショップによる課題抽出および実証実験の実施を目的としたが、一部については下記のとおり試作品の設置を行った。

- ・ハンズオン展示（主に視覚障害者を対象として）
- ・こどもミュージアムに江戸時代のお金パズルの設置（こどもを対象として）
- ・字幕解説（主に聴覚障害者を対象として）
- ・点字ブロック設置（主に視覚障害者を対象として）
- ・音声ガイド（英韓中多言語化対応として）
- ・ピクトグラム（主に視覚障害者・外国人を対象として）
- ・利用案内サイン（英韓中多言語化対応として）
- ・券売機ボックス（英韓中多言語化対応として）
- ・展示ケース等の危険予防対策として角に緩衝材の設置（全ての来館者を対象として）



（下村通誉）

映像字幕試作品





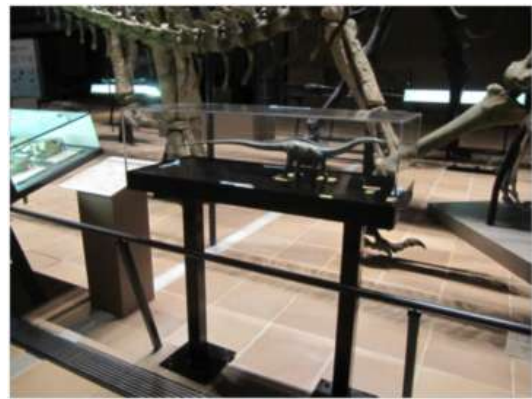
点字ブロック敷設検証



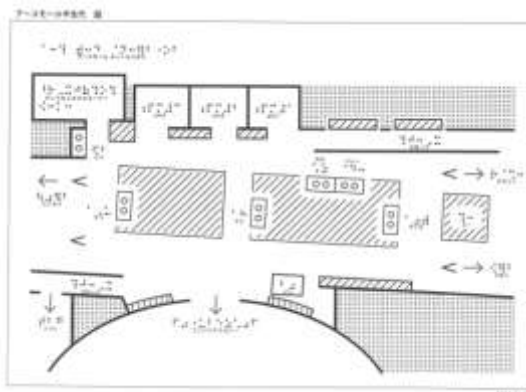
ハンズオン展示物課題抽出



ハンズオン展示物課題抽出・試作品検証



ハンズオン改良試作品



触地図試作品



こどもミュージアムワークショップ



江戸時代のお金パズル



遠隔授業実証実験

### (5) サイエンスミュージアムネット説明会 (共催)

**日 時** : 平成 26 年 10 月 27 日 (月) 13:00  
~17:00

**場 所** : 九州大学箱崎キャンパス 21 世紀  
交流プラザ

**主 催** : 国立科学博物館

**共 催** : 九州大学総合研究博物館、北九州  
市立自然史・歴史博物館

#### 概 要

生物多様性情報は、生態や分類の基盤情報として研究上重要であるばかりでなく、絶滅危惧種の保全や侵略的外来種への対策といった保全生物学上の政策構築のための基礎データとしても重要であり、現在、国内各地の博物館や大学等の研究機関がその集積・発信に取り組んでいる。本説明会では、主に西日本の博物館や大学、研究機関関係者等を対象に、国立科学博物館が中心となって運営しているサイエンスミュージアムネット (S-Net) をはじめ、地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) およびその日本ノード (JBIF) など生物多様性情報を取り巻く現在のトレンドを紹介し、データ提供や利用を行う上でのツールやスキルを解説した。

(真鍋 徹)



### (6) モニタリングサイト 1000 里地調査全国サイト間交流会 2014 (共催)

**期 間** : 平成 27 年 1 月 17 日 (土) ~1 月  
18 日 (日)

**場 所** : 北九州市立自然史・歴史博物館ガ  
イド館、実習室および講座室

**主 催** : 環境省自然環境局生物多様性セン  
ター、日本自然保護協会

**共 催** : 北九州市立自然史・歴史博物館

#### 概 要

本交流会は、里地生態系の現状や変遷を全国の多地点において統一した方法で実施し全国レベルで明らかにすることを目的とした市民参加型の調査である「モニタリングサイト 1000 里地調査」の結果の発信や市民調査の意義の普及啓発等を目的としたもので、九州では初の開催となった。期間中、一般市民向けの公開シンポジウム「人と人がつなく全国調査～データが紐解く里やまの姿～ (参加費無料)」、調査関係者向けの「調査技術向上研修会」および「交流会」等を実施した。

平成 27 年 1 月 2 日 (金・祝) から 2 月 8 日 (日) の間、この交流会にあわせ、当館ギャラリー一館において、モニタリングサイト 1000 里地調査の概要や国内各地の活動状況を紹介するパネル展「市民が見つめ、調べ、支えてゆく身近な里やま (観覧無料)」を実施した。

(真鍋 徹)



## 1 2. 教育普及活動

### (1) 博物館セカンドスクール事業

博物館が第2の学校(教室)として、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動を胸に理科・社会科への学習意欲を持たせる仕組みづくりを行うため、

- (1) 博物館への誘致事業
- (2) 学校教育支援事業
- (3) 家庭教育支援事業

の3つの柱をかかげ、学校教育現場と博物館との結びつきを強めるための事業。

#### 1) 博物館への誘致事業

- 博物館への誘致活動  
修学旅行等の団体客を誘致するため学校へのガイダンスビデオ、パンフレット類の送付及び旅行会社へのPR活動
- 情報発信による博物館利用の案内  
・情報誌「いのちのたび」を月1回、保育所(園)・幼稚園向けの情報誌を年2回発行  
・博物館ホームページ、市政だより等の活用

#### 2) 学校教育支援事業

- 博物館活用資料の整備  
各種ガイドブック、ワークシート、スタンプラリーシート、体験活動プログラム資料など
- 体験学習プログラムの提供  
化石レプリカづくり、ペットボトル顕微鏡づくり、化石発掘体験、勾玉づくり
- 授業づくり支援  
「博物館利用の手引き」の作成、小学校への出前授業、「昔の道具調べ」「土地のつくりと変化」等の館内授業、ディスカバリーボックスの貸し出し等
- 職場体験学習、教員研修の受け入れ等
- 環境体験科(北九州市教育委員会主催の市内小学校4年生を対象とした体験活動)
- その他  
北九州市小学校児童科学研究作品展会場等

#### 3) 家庭教育支援事業

- いのちのたび子ども教室(20名を定員として前期8回、後期8回で学芸員による講話や体験学習を実施する。)
- 東田サマースクール(夏休み期間中に、環境ミュージアム、KIGSと合同で全3期の体験学習を実施する。)

#### 【平成26年度 学校関係利用状況】

- 学校関係誘致実績

団体	保・幼	小学校	中学校	高等学校	特別支援	合計
団体数	232	843	115	31	42	1,263
人数	12,195	61,388	10,178	1,174	1,042	85,977

- 学校教育支援事業実績

体験プログラム	レプリカ	顕微鏡	化石発掘	勾玉	合計
団体数	18	5	26	10	59
人数	704	132	1,505	250	2,591

授業	昔の道具調べ	土地のつくり	環境体験科	合計
学校数	24	11	39	74
人数	1,045	744	2,128	3,917

○ 家庭教育支援事業実績

講座名	いのちのたび子ども教室	東田サマースクール
回数	前期 8回 後期 8回	3期
参加者数	各回 20名のべ 320名	各期 25名 計 75名

(2) 普及講座

1) 自然史系の普及講座

自然史に親しみ、理解を深めてもらうため各学芸員の専門分野の講座を 36 回企画した。悪天候による中止が 3 回あったため、33 回の実施となった（野外観察会：8 回（うち 1 回中止）、室内講座：6 回、たいけん講座：10 回、夏休み教室：4 回（うち 1 回中止）、バスハイク：7 回（うち 1 回中止）、講演会：1 回）。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～春の部	平成 26 年 4 月 27 日	日	23
野外観察会	バードウィーク市民探鳥会	平成 26 年 5 月 11 日	日	41
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～夏の部	平成 26 年 7 月 27 日	日	中止
野外観察会	ジオ・ハイキング「平尾台の謎をさぐるジオハイキング（化石・洞窟編）」	平成 26 年 8 月 31 日	日	26
野外観察会	ジオ・ハイキング「恐竜時代の大地を知る皿倉山探索」	平成 26 年 9 月 23 日	火・祝	26
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～秋の部	平成 26 年 10 月 26 日	日	7
野外観察会	カワセミを見る！	平成 27 年 1 月 25 日	日	21
野外観察会	ズグロカモメを見る！	平成 27 年 2 月 8 日	日	8
室内講座	博物館を 100 倍楽しむ！アースモールの恐竜見どころツアー・その 1	平成 26 年 5 月 10 日	土	20
室内講座	地球と化石の研究最前線（地球のマグマと平尾台の石）	平成 26 年 5 月 11 日	日	15
室内講座	博物館を 100 倍楽しむ！アースモールの恐竜見どころツアー・その 2	平成 26 年 6 月 7 日	土	30
室内講座	「秋の恐竜学」ちょっといい話	平成 26 年 10 月 19 日	日	30
室内講座	植物細密画を描いてみよう！	平成 26 年 10 月 19 日	日	12
室内講座	冬の恐竜学チョコっといい話	平成 27 年 2 月 14 日	土	30
たいけん教室	顕微鏡でみる美しい鉱物	平成 26 年 6 月 8 日	日	32
たいけん教室	昆虫標本作製教室	平成 26 年 6 月 15 日	日	19
たいけん教室	親子 de！野菜から DNA をとりだしてみよう！	平成 26 年 6 月 22 日	日	28
たいけん教室	親子 de！野菜から DNA をとりだしてみよう！	平成 26 年 10 月 12 日	日	24
たいけん教室	「けもの」の毛と骨の観察	平成 26 年 11 月 16 日	日	18
たいけん教室	ムササビとタネのグライダー	平成 26 年 12 月 7 日	日	10
たいけん教室	鳥はなぜ飛べる？鳥だこを作って考えよう！	平成 26 年 12 月 14 日	日	27
たいけん教室	恐竜すす払い	平成 26 年 12 月 20 日	土	10
たいけん教室	小さな化石にふれてみよう！	平成 27 年 2 月 11 日	水・祝	26
たいけん教室	いろいろなかたちのアンモナイトにさわってみよう！	平成 27 年 2 月 22 日	日	27
夏休み教室	海岸生物の観察	平成 26 年 7 月 25 日	金	15
夏休み教室	権現山の昆虫・植物観察会	平成 26 年 7 月 26 日	土	22
夏休み教室	ジオ・ハイキング「化石と地質の楽しみ方」	平成 26 年 8 月 9 日	日	中止
夏休み教室	植物の名前調べ	平成 26 年 8 月 24 日	日	8
バスハイク	ジオ・ツアー「ジオの恵み 合馬の竹と紫川を楽しむバスツアー」	平成 26 年 4 月 5 日	土	15

バスハイク	ジオ・ツアー「チャレンジ洞窟探検、平尾台バスツアー」	平成 26 年 5 月 25 日	日	7
バスハイク	ジオ・ツアー「ジオの恵みと日本の近代化」	平成 26 年 6 月 22 日	日	27
バスハイク	ジオ・ツアー「生きた化石：カプトガニと平尾台の謎をとく旅」	平成 26 年 7 月 27 日	日	15
バスハイク	ジオ・ツアー「大地の恵み“化石と景観”を楽しむバスハイク」	平成 26 年 10 月 12 日	日	中止
バスハイク	ジオ・ツアー「学芸員とめぐる北九州周辺の化石産地と代表的地層！」	平成 26 年 11 月 24 日	月・祝	25
バスハイク	ジオ・ツアー「春の宿題これで決まり！化石とジオトープと未来環境」	平成 27 年 3 月 21 日	土	22
講演会	自然と歴史を活かした北九州ジオパーク・イニシアチブ	平成 27 年 2 月 15 日	日	30

合計 696

## 2) 歴史系の普及講座

歴史や文化にかかわる講座を実施し、理解につとめた。連続講座ではより深い学習を求める方々に向けた講座を行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
室内講座	近世文書読み方応用講座	平成 26 年 4 月～平成 27 年 2 月	第 4 水	41
歴史探訪講座	北九州の城跡を歩く～長野城跡～	平成 26 年 4 月 26 日	土	38
たいけん講座	若武者に変身！	平成 26 年 5 月 5 日	月・祝	49
室内講座	近世文書読み方入門講座	平成 26 年 5 月～平成 27 年 2 月	第 2 水	14
室内講座	小倉織入門教室	平成 26 年 10 月 11 日	土	15
歴史探訪講座	北九州の城跡を歩く～花尾城跡～	平成 26 年 10 月 25 日	土	13

合計 167

## 3) 自然史・歴史合同の普及講座

「いのたび自然塾」と称して、自然史課・歴史課共同で自然学習園などにおいて自然の恵みと人々の歴史を考えるイベントを行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
いのたび自然塾	藍のたたき染めでオリジナルエコバックを作ろう！	平成 26 年 8 月 2 日	土	31
いのたび自然塾	藍の生草で染めるシルクのハンカチ	平成 26 年 8 月 10 日	日	22
いのたび自然塾	どんぐり祭り！たべよう・あそぼう	平成 26 年 11 月 9 日	日	56
いのたび自然塾	オリジナルしめ縄を作ろう！	平成 26 年 12 月 21 日	日	12

合計 121

## 4) 特別展の普及講座等

特別展に関連した講座等として下記を開催した。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
関連イベント	猫に関する映画を 16mm フィルムで！	平成 26 年 4 月 13 日, 5 月 11 日, 5 月 17 日	日, 日, 土	130
関連イベント	動物写真家・岩合光昭氏ギャラリートーク&サイン会	平成 26 年 4 月 20 日 (2 回)	日	600
関連イベント	にゃんにゃんファミリーコンサート	平成 26 年 4 月 27 日	日	120
関連イベント	オリジナル缶バッジを作ろう	平成 26 年 5 月 3 日～5 月 6 日	土, 日, 月, 火	1558
関連イベント	フェイスペインティング	平成 26 年 5 月 3 日～5 月 6 日	土, 日, 月, 火	509
関連イベント	“ミスタッチ” コンサート&ファッションショー	平成 26 年 5 月 4 日	日	140
関連イベント	飴細工	平成 26 年 5 月 4 日・5 月 5 日	日, 月	200

関連イベント	“ねこの和紙皿”を作ろう！	平成 26 年 5 月 10 日	土	19
関連イベント	“にゃグネット”を作ろう！	平成 26 年 5 月 10 日	土	17
関連イベント	ねこのストーンペイント	平成 26 年 5 月 17 日	土	5
関連イベント	クイズ！ねこのヒミツ&いのちの鼓動を聴いてみよう！！	平成 26 年 6 月 1 日	日	153
関連イベント	ナイトミュージアム	平成 26 年 7 月 25 日	金	401
関連イベント	ギャラリートーク	平成 26 年 7 月 26 日, 8 月 2 日, 8 月 23 日	土	60
関連イベント	自由研究はこれで決まり！研究者が伝える大きさのフシギ	平成 26 年 8 月 4 日, 8 月 7 日	月, 木	40
関連イベント	モンスター展観覧と恐竜コンサート	平成 26 年 8 月 24 日	日	119
関連イベント	メタルズ！和同開珎の作り方	平成 26 年 11 月 2 日, 3 日, 16 日, 23 日, 12 月 7 日, 14 日, 23 日	日、祝、日、祝、日、日、祝	140
関連イベント	メタルズ！リモナイトによる鉄づくり	平成 26 年 12 月 20 日	土	9
関連イベント	ガイドツアー 鉱物のひ・み・つ	平成 27 年 3 月 21 日～5 月 9 日 (8 回)	土	153
関連イベント	ガイドツアー ヒスイのひ・み・つ	平成 27 年 3 月 22 日～5 月 10 日 (8 回)	日	133
関連イベント	ナイトミュージアム	平成 27 年 3 月 27 日, 4 月 3 日, 5 月 1 日	金	531
関連イベント	小さな鉱物を大きく見よう！	平成 27 年 4 月 11 日	土	16
関連イベント	ガラス玉をつくって！まなぶ！	平成 27 年 4 月 18 日, 4 月 29 日, 5 月 2 日	土, 水, 木	80
関連イベント	勾玉をつくって！まなぶ！	平成 27 年 4 月 25 日, 4 月 26 日	土, 日	93

合計 5210

(“ミスタッチ”コンサート&ファッションショー、クイズ！ねこのヒミツ&いのちの鼓動を聴いてみよう！！以外はチケット購入が条件)

### (3) 博物館実習

#### 1) 自然史課博物館実習

学芸員課程の学生を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。5 日間と 10 日間を学生が選択。

- ・期間：8 月 12 日 (火)～8 月 23 日 (土)：日曜・月曜休講の 10 日間
- ・人数：8 名 (うち 1 名は 5 日間)
- ・所属大学：北九州市立大学 2 名、東海大学 1 名、都留文科大学 1 名、北海道大学 1 名、佐賀大学 1 名、九州産業大学 1 名、福岡教育大学 1 名

#### 2) 歴史課博物館実習

学芸員課程の学生を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。5 日間と 10 日間を学生が選択。

- ・期間：7 月 29 日 (火)～8 月 2 日 (土)、8 月 26 日 (火)～30 日 (土)の 10 日間
- ・人数：6 名 (うち 1 名は 5 日間)
- ・所属大学：関西大学 1 名、北九州市立大学 3 名、九州産業大学 1 名、福岡大学 1 名

### (4) 職場体験・インターンシップ・職員研修受入れ

教育機関等からの依頼を受け、生徒・学生・教職員などが研修生として働くことで、将来に向けての就業体験や社会人として広く見識を深めることが出来るように研修の企画・運営を行った。

#### 1) 職場体験・インターンシップ

- ・福岡県立折尾高等学校 (平成 26 年 7 月 29、30 日 2 年生 4 名)
- ・福岡県立遠賀高等学校 (平成 26 年 7 月 29、30 日 2 年生 6 名)
- ・九州共立大学 (平成 26 年 9 月 1 日～9 月 13 日 1 名)
- ・九州国際大学 (平成 26 年 9 月 1 日～9 月 13 日 2 名)
- ・北九州市立大学 (平成 26 年 9 月 1 日～9 月 13 日 2 名)
- ・岡垣町立岡垣中学校 (平成 26 年 9 月 10、11、12 日 2 年生 2 名)
- ・北九州市立中央中学校 (平成 26 年 10 月 15、16 日 2 年生 5 名)
- ・北九州市湯川中学校 (平成 26 年 10 月 15、16 日 2 年生 2 名)
- ・九州国際大学附属中学校 (平成 26 年 10 月 30、31 日 2 年生 4 名)

## 2) 職員研修受け入れ

- ・福岡県立京都高等学校（平成 26 年 8 月 5 日～7 日 教諭 1 名）
- ・福岡県立遠賀高等学校（平成 26 年 8 月 5 日～7 日 教諭 1 名）
- ・北九州市立早鞆中学校（平成 26 年 8 月 5 日～7 日 教諭 1 名）
- ・北九州市立菅生中学校（平成 26 年 8 月 5 日～7 日 教諭 1 名）

## (5) 館内での講話等

依頼を受けて、生徒・学生・市民・一般の方々へ、各学芸員の専門分野の講話や解説を行った。

- ・対応件数計：17 回・約 600 名に対応
- ・主な依頼元：高等学校・大学等教育機関（市内、県内外）、各自治体

## (6) 館外での講演等

依頼を受けた講演会等で市民・一般の方々へ、各学芸員の専門分野の講話や解説を行った。

- ・対応件数計：31 回・約 1200 名に対応
- ・主な講演先：小・中・高等学校等教育機関（市内、県内外）、各自治体、メディア等

## (7) 公務による大学での講義

- ・北九州市立大学
  - 「自然史へのいざない」自然史課学芸員全員 11 名 受講生約 200 名×11 コマ
  - 「博物館資料保存論」自然史課（馬場 稔、下村通誉、太田泰弘、山根明弘、森 康、御前明洋）、歴史課（日比野利信、宮元香織、富岡優子） 受講生約 20 名×12 コマ
  - 「博物館展示論」自然史課（真鍋 徹、藪本美孝、馬場 稔、武石全慈、大橋智之、蓑島悠介）、歴史課（松井和幸、日比野利信、守友 隆） 受講生 17 名×12 コマ
  - 「環境都市としての北九州」山根明弘 受講生約 230 名×1 コマ
  - 「地球環境システム概論」真鍋 徹・武石全慈 受講生約 160 名×3 コマ
- ・福岡大学
  - 「博物館資料保存論」山根明弘 受講生 84 名×4 コマ
  - 「博物館経営論」馬場 稔 受講生 58 名×15 コマ
- ・岐阜大学
  - 「博物館展示論」真鍋 徹 受講生 49 名×15 コマ（集中講義）
- ・熊本大学
  - 「学生実験」森 康 受講生約 8 名×3 コマ
- ・放送大学
  - 「生きものの形態と生態」真鍋 徹、馬場 稔、下村通誉、武石全慈、山根明弘、蓑島悠介。受講生 35 名×8 コマ

## (8) 団体・委員会への就任依頼

- ・真鍋 徹（自然史課）
  - ・遠賀川水系生態系ネットワーク検討委員会委員（九州地方整備局）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・小石原ダム環境保全対策検討委員会委員（水資源機構）
  - ・小石原ダム環境保全対策検討委員会クマタカ検討部会委員（水資源機構）
  - ・日本景観生態学会編集委員（日本景観生態学会）
  - ・日本景観生態学会企画委員（日本景観生態学会）
  - ・日本生態学会九州地区委員（日本生態学会）
  - ・第 62 回日本生態学会大会実行委員会委員（日本生態学会）
- ・下村通誉（自然史課）
  - ・福岡市博多湾環境保全計画推進委員会委員（福岡市）
  - ・福岡市新西部水処理センター環境モニタリング委員会委員（福岡市）
  - ・日本甲殻類学会学会誌 Cancer 編集委員長（日本甲殻類学会）

- ・日本甲殻類学会学会賞審査委員長（日本甲殻類学会）
- ・日本動物分類学会学会誌 *Species Diversity* 編集委員（日本動物分類学会）
- ・藪本美孝（自然史課）
  - ・鳥取県立博物館現状・課題検討委員会（鳥取県）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・恒見朽網線環境影響評価に伴う環境保全措置魚類・動物作業部会委員（北九州市）
  - ・石川県白山市手取層群化石調査団員
  - ・福島県・シーラカンス委員会国内委員（ふくしま海洋科学館）
- ・馬場 稔（自然史課）
  - ・福岡県環境審議会委員（福岡県）
  - ・平成 26 年度特別天然記念物カモシカ食害対策事業保護指導委員（大分県）
  - ・周南市ツル保護協議会委員（周南市）
  - ・福岡県サル被害対策検討委員会委員（福岡県）
  - ・日本生態学会九州地区会地区委員（日本生態学会）
- ・武石全慈（自然史課）
  - ・遠賀川水系生態系ネットワーク検討委員会委員（九州地方整備局）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会委員（北九州市）
  - ・福岡県希少野生生物保護検討会委員（福岡県）
  - ・周南市ツル保護協議会委員（周南市）
  - ・日本鳥学会鳥類保護委員会委員（日本鳥学会）
- ・太田泰弘（自然史課）
  - ・日本洞窟学会事務局長・評議員（日本洞窟学会）
  - ・洞窟学雑誌・ケイピングジャーナル編集委員（日本洞窟学会）
  - ・福岡県環境教育学会運営委員（福岡県環境教育学会）
  - ・Mine 秋吉台ジオパーク構想拠点施設検討委員会委員（山口県美祿市）
  - ・日本地質学会代議員（日本地質学会）
  - ・日本地質学会古生物部会：中・古生代担当幹事（日本地質学会）
  - ・日本地質学会第 121 年学術大会古生物セッション世話人（日本地質学会）
- ・山根明弘（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会分科会委員（北九州市）
  - ・小石原川ダム環境保全対策検討委員会委員（水資源機構）
  - ・宇佐市オオサンショウウオ保護管理委員会委員（宇佐市）
  - ・岩国市シロヘビ調査研究委員会委員（岩国市）
  - ・九州両生爬虫類研究会運営委員（九州両生爬虫類研究会）
- ・森 康（自然史課）
  - ・日本鉱物科学会博物館委員会委員（日本鉱物学会）
- ・御前明洋（自然史課）
  - ・日本古生物学会 2014 年年会シンポジウム「フィールド古生物学」世話人（日本古生物学会）
- ・大橋智之（自然史課）
  - ・日本古生物学会化石友の会幹事（日本古生物学会）
- ・蓑島悠介（自然史課）
  - ・日本甲虫学会評議員（日本甲虫学会）
  - ・日本甲虫学会和文誌編集委員（日本甲虫学会）
- ・日比野利信（歴史課）
  - ・春日市文化財専門委員
- ・宮元香織（歴史課）
  - ・佐賀県文化財保護審議会委員



### 13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動

#### (1) 人数 (平成26年4月1日現在)

- 登録人数 58名 [男性 22名 女性 33名]  
 20代(1名) 30代(2名) 40代(2名) 50代(10名)  
 60代(16名) 70代(21名) 80代(3名)

#### (2) 活動実績

- 延べ日数 354日
- 延べ活動回数 1,883回 (平均32.5回/人)

#### (3) 活動内容

##### [展示案内グループ]

来館者に対して館内の施設案内、常設展・特別展の展示解説、スポット解説を行う。

##### [講座補助グループ]

体験プログラムの補助、学芸員の普及講座の補助、子ども教室・東田サマースクールおよびMTが行う授業(環境体験科、昔の道具調べ)の補助を行う。

##### [演示グループ]

子ども向けの恐竜や生き物の「折り紙」、九州の民話を抜粋した「手作り紙芝居」の読み聞かせ、お手玉・コマ回しなどの「昔あそび」、糸紡ぎから機織りまでを体験する「小倉織」などの実演を行う。

#### (4) 研修

- 毎月1回の学芸員との「交流ゼミ」を通して、シーダーとしての資質の向上に努めた。

	実施日	人数	講 話 題	話者
第107回	4月22日(火)	32名	数字から知るからだのふしぎ	伊藤 明夫
第108回	5月20日(火)	25名	土師器が語る古代の海上交易 お釈迦様の再生～国宝釈迦金棺出現図～	森 康 富岡 優子
第109回	6月10日(水)	29名	甕島での化石調査について 黒田官兵衛常設展解説	御前 明洋 守友 隆
第110回	7月24日(木)	33名	「THE モンスター展」の展示解説	大橋 智之
第111回	8月19日(火)	23名	昆虫採集旅行記 ヨイトサ 戸畑祇園	蓑島 悠介 上野 晶子
第112回	9月25日(木)	17名	クマムシの採集と観察 ねこの生き方	下村 道誉 山根 明弘
第113回	10月16日(木)	17名	博物館における野外活動の実践 黒田官兵衛、九州上陸!!	太田 泰弘 中西 義昌
第114回	11月13日(木)	26名	特別展「メタルズ！」の展示解説	松井 和幸
第115回	12月9日(火)	18名	瀬戸内海西部で見られるカンムリウミ・スズメ個体群の特徴について 景観の変化をとらえる	武石 全慈 真鍋 徹
第116回	1月20日(火)	21名	標本ができるまで(哺乳類編) 伝記のすすめ!—寺本正毅と陸軍長州閥・日露戦争—	馬場 稔 日比野利信
第117回	2月12日(火)	18名	生命の存在様式の多様性とその進化—アースモールから多様性館まで— 探究館の住まいを「探究」する	武石 全慈 中西 義昌
第118回	3月26日(木)	24名	特別展「地球からの贈り物～石の美と魅力～」	森 康 宮元 香織

#### ・ シーダーバス研修実施

日時 平成27年3月4日(水) 9:00～17:00

場所 九州歴史資料館・福岡城址・鴻臚館跡・博多町家ふるさと館

参加者 シーダー29名 職員1名

## 14. 自然史友の会の活動

### 目的

博物館とともに楽しく自然を研究し、正しく自然を理解し、自然史学の普及発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的とする（自然史友の会規約第2条）。

### 会員数

676名（平成27年3月31日現在）

### 役員等

会長：小林 繁、副会長：原田隆好・佐藤政弘、幹事長：新海義治、事業担当幹事7名、出版担当幹事9名、庶務会計担当幹事4名、会計監査2名、評議員40名、顧問15名

### 年会費

正会員：大人 3,000円、小・中・高生 1,000円、家族 4,000円。賛助会員：10,000円

### 活動内容

- (1) 会誌「わたしたちの自然史」の発行（B5版、総カラー24ページ）  
第127号（4月15日発行）：「北九州市内のコオイムシの記録」等12件の報告  
第128号（7月15日発行）：「ジュラ紀アンモナイト物語（山口県豊浦層群）」等5件の報告  
第129号（10月31日発行）：「北九州市岩屋海岸に漂着したオウムガイ」等8件の報告  
第130号（12月25日発行）：「総会・研究発表会報告（講演要旨10件付き）」等6件の報告
- (2) 研究部会の活動：例会の実施  
地質鉱物（第144～152回例会）、化石（第335～341回例会）、植物（第139～144回例会）、昆虫（データ入力11回及び昆虫採集会1回）、水生動物（休止中）、両生・爬虫類（第181～192回例会）、鳥類（第124回例会）
- (3) 研究部会合同野外観察会の実施  
10月5日（日）に北九州市小倉南区曾根干潟・間島で予定していたが、台風18号接近の影響で中止。参加申込者40名（大人34名、小学生6名）。
- (4) 博物館との共催の野外観察会の実施  
野外観察会・夏休み教室を8回実施。
- (5) 市民向け室内講座の実施  
「植物細密画を描いてみよう！」：10月19日（日）13:00～17:00、博物館実習室にて。自然史友の会主催。参加者12名（大人8名、小学生4名）
- (6) 会員向け室内講座の実施  
「貝のこと知ってるカイ？ハマグリの体の仕組みを調べ、貝化石のレプリカを作ってみよう」：5月25日（日）13:30～16:30、博物館実習室にて。自然史友の会主催。参加者7名（大人4名、高校生1名、小学生2名）  
「未知とのそうごう 土のなかの生きものさがし」：8月10日（日）13:30～16:30、博物館実習室にて。自然史友の会主催。参加者14名（大人8名、中学生1名、小学生5名）
- (7) 研究発表会の実施  
4月29日（火・祝）に博物館にて「市丸小学校第6学年 ガンシャモクを守る取組」など10件の発表。参加者91名。
- (8) 会議等の実施  
総会（4月29日）、親睦会（4月29日）、評議員会（平成27年3月21日）、出版担当幹事会（3回）、事業担当幹事会（2回）、庶務会計担当幹事会（1回）、特別号検討委員会（1回）を実施。

## 15. 歴史友の会の活動

### 目的

本会は、考古学など歴史に関する学習を通じて自己啓発と会員相互の親睦を図り、正しい古代史への理解と認識を高めるとともに、博物館への協力によって北九州地域の文化の向上に寄与することを目的とする（歴史友の会会則第2条）。

### 会員数

167名（平成27年3月末現在）

### 役員等

会長：山中英彦、副会長：野口委有、豊村二雄、会計3名、会計監査2名、会員管理1名、講座運営担当12名、遺跡見学運営担当10名、広報・会誌編集6名

### 年会費

正会員：5,000円 賛助会員：10,000円以上 臨時会員：実費（資料代）800円

### 活動内容（平成26年度）

- (1) 会誌「友の会だより」の発行（A4版、総カラー6ページ、年3回）
- (2) 講演会

日時	講演タイトル	講師	人数
4月19日（土）	百済遺跡の現状と課題	韓国・韓神大校教授 李 南珪 先生	107名
6月14日（土）	古賀市船原古墳群の新発見と6・7世紀の対外交渉	福岡大学教授 桃崎 祐輔 先生	98名
7月12日（土）	近代化遺産のいま	九州国際大学名誉教授 清水 憲一 先生	74名
8月23日（土）	ミュージアムの楽しみ方ー動物園から考古博までー	ハンズ・オン・プランニング代表 染川 香澄 先生	76名
9月27日（土）	西国の城館と戦国大名	北九州市立自然史・歴史博物館 中西 義昌先生	110名
	北部九州における黒田官兵衛の城ー豊前時代を中心にー	九州歴史資料館 岡寺 良 先生	
10月18日（土）	黒田官兵衛と信長・秀吉の城	奈良大学学長 千田 嘉博 先生	142名
12月6日（土）	変容する金属の美	京都美術工芸大学教授 村上 隆 先生	94名
1月24日（土）	海を開いた人々	行橋市歴史資料館館長 山中 英彦 先生	88名
3月15日（土）	転換期としての平安時代	九州大学准教授 伊藤 幸司 先生	108名
	征西将軍と九州の南北朝	福岡大学教授 森 茂暁 先生	

### (3) 遺跡見学会

日時	場所	人数
5月24日（土）～5月25日（日）	遺跡見学会（米子・妻木晩田遺跡ほか）	36名
6月8日（日）	新入会員史跡見学会（馬ヶ岳城跡）	47名
10月3日（金）～10月5日（日）	遺跡見学会（高槻市方面）	34名
11月9日（日）	遺跡見学会（唐津方面）	53名
2月8日（日）	遺跡見学会（宗像方面）	48名

## 16. 資料の収集保存状況

### (1) 自然史課

#### 1) 平成 26 年度資料収集状況

平成 26 年度の自然史資料登録点数は以下のとおりである。

	25 年度末累計	26 年度登録数					26 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
生物系	78,663	79	0	6	1	86	78,749
地学系	33,997	0	0	0	5	5	34,002
合計	112,660	79	0	6	6	91	112,751

#### 2) 平成 26 年度収集資料の概要

平成 26 年度には、上記の登録標本の他に、まずは一括して受け入れた寄贈標本が 370 点あり、今後の処理及び登録に供されることになる。それらには、個人コレクションからのさく葉標本 316 点、花粉プレパラート標本 43 点、トラとオオカミの剥製が含まれる。また県内外の動物園からはアカカンガルー 1 体とタンチョウヅル 8 体の冷凍遺体をご寄贈いただいた。このほか、調査により現生無脊椎動物（甲殻類、貝類など）や化石（軟体動物など）を数百点採集した。

### (2) 歴史課

#### 1) 平成 26 年度資料収集状況

平成 26 年度の歴史資料登録点数は以下のとおりである。

	25 年度末累計	26 年度登録数					26 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
歴史系	30,520	563	0	179	0	742	31,262
考古系	43,895	5	0	0	0	5	43,900
合計	74,415	568	0	179	0	747	75,162

#### 2) 平成 26 年度収集資料の概要

平成 26 年度には、主として堀切辰一氏より古布資料の寄贈を受け、また購入を行った。堀切辰一氏が収集した古布資料は「襤褸」（らんる）と呼ばれ、博物館（歴史課）の代表的コレクションとして、さまざまな特別展や企画展で紹介してきた。また 1 点ずつカラー写真と解説を付した『堀切辰一時代布目録「襤褸」』続編全 3 巻を刊行中で、平成 27 年度で完結する予定である。今後のさらなる研究・活用を期したい。

このほかにも受入・登録を前提として調査・整理を進めている資料が少なからずあり、早期の整理・登録の進展を期したい。

## 17. 資料の特別観覧〈研究他〉状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	目的	所属/団体名	閲覧者	人数	閲覧日
1	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究		山根 正気	1	H26. 4. 20～22
2	自然史	イナズマチョウ類標本	イナズマチョウ類標本の調査研究及び整理		横地 隆	1	H26. 5. 23～24
3	自然史	関門層群産脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載（修士研究）	福岡大学	立島 潤一郎・田上 響	2	H25. 4～H27. 3
4	自然史	関門層群産脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載（卒業研究）	福岡大学	手嶋 由佳・湯川 花菜子・田上 響	3	H26. 4～H27. 3
5	自然史	洞窟堆積物中の脊椎動物化石	洞窟堆積物中の脊椎動物化石の記載（卒業研究）	福岡大学	青木 桃子・田上 響	2	H26. 4～H27. 3
6	自然史	現世人類歯牙石膏型採資料	現世人類歯牙形態の地域間比較	九州歯科大学	片岡 正太	1	H26. 5～H27. 3
7	自然史	当館所蔵ニホンオオカミ頭骨	雑誌「望星（東海大学出版会発行の月刊誌）の取材	東海教育研究所	宗像 充	1	H26. 5. 30
8	自然史	コモチナデシコ及イヌコモチナデシコ類標本	外来コモチナデシコ類の分類学的位置の再検討		中村 功	1	H26. 6. 5
9	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究		山根 正気	1	H26. 6. 10～12
10	自然史	蛾類標本	蛾類標本の調査研究		枝 恵太郎	1	H26. 7. 12～13
11	自然史	イナズマチョウ類標本	イナズマチョウ類標本の調査研究および整理		横地 隆	1	H26. 7. 12～13
12	自然史	プロトプテルム類化石標本	プロトプテルム類化石の調査研究	Howard 大学	Narthan Smith	1	H26. 7. 14～15
13	自然史	北九州市産（関門層群）角竜類歯化石	篠山層群産恐竜化石との比較検討のためのレプリカ作成	人と自然の博物館	三枝 春生	1	H26. 6. 27
14	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究		山根 正気	1	H26. 7. 30～31
15	自然史	オウムガイ化石	オウムガイ化石の産状に関する研究	京都大学	唐沢 興希	1	H26. 8. 12
16	自然史	文献類	文献調査	自然史友の会	田畑 郁夫	1	H26. 8. 29
17	自然史	イナズマチョウ類標本	イナズマチョウ類標本の調査研究および整理		横地 隆	1	H26. 9. 6～7
18	自然史	オウムガイ、アンモナイト化石	オウムガイ、アンモナイト化石の産状に関する研究	京都大学	唐沢 興希	1	H26. 9. 17～18
19	自然史	ガンガゼ類	ガンガゼ類の分類学的研究	中央水産研究所	張 成年	2	H26. 9. 21
20	自然史	クロクシヒゲボタル	クロクシヒゲボタルの分類学的研究	豊田ホテルの里ミュージアム	川野 敬介	1	H26. 9. 26
21	自然史	鹿児島県の燃島貝層産化石	鹿児島県の燃島貝層産化石の研究	鹿児島大学	瓜生 梓	1	H26. 11. 29
22	自然史	鹿児島県の燃島貝層産化石	鹿児島県の燃島貝層産化石の研究	鹿児島大学	瓜生 梓	1	H27. 1. 3
23	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究		山根 正気	1	H27. 1. 9～11
24	自然史	ウミネコ剥製標本	ウミネコ模型制作		松尾 吉将	1	H27. 2. 24
25	自然史	ハムシ科甲虫（主に木元コレクション）	ハムシ科甲虫の研究	台湾省農業試験所	李 奇峯	1	H27. 3. 3～10
26	自然史	イナズマチョウ類標本	イナズマチョウ類標本の調査研究および整理		横地 隆	1	H27. 2. 27～28
27	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究		山根 正気	1	H27. 2. 26～3. 1
28	自然史	ヨコエビ類標本	ヨコエビ類の分類学的研究	筑波大学	小玉 将史	1	H27. 3. 10～12
29	自然史	蝶類標本	蝶類標本調査	（財）進化生物学研究所	中村 紀雄	1	H27. 3. 30～31
30	歴史課	小倉織 小倉縮関係資料	小倉織・小倉縮の調査	遊生染織工房	遠藤聡子	4	H26. 5. 20

31	歴史課	<p>中村家文書          安政8 萬控帳          安政元 6郡大庄屋役田並持田畝取立帳差出しの件          万延文久 宮尾村老岐守一常陸介          文久元 元宮尾社神殿米の事          天明6 貸方無尺掛その他利精算帳          天保6 郡中諸借財無尺等5年間上納休席触のこと          津田文書          天保9～11 御用借仕詰          明治11～12 津田維寧企救郡帳勤務中の雑録          明治11 明治11年事務引継書(企救郡)          弘化3 城野手永午歳勘定目録          弘化4 城野手永未歳勘定目録          嘉永元 城野手永申歳勘定目録          嘉永2 城野手永酉歳勘定目録          嘉永3 城野手永戌歳勘定目録          嘉永2 企救郡津田手永酉諸取立勘定目録          嘉永2 嘉永二酉年歩掛米          嘉永2～5 城 勘定目録五ヶ年之分 城野手永          嘉永3年 企救郡津田手永戌諸取立勘定帳          城野 手永出米仕詰帳          城野 歩掛米仕詰帳          城野 扱米仕詰帳          安政2～安政5 城野利嘉藏大庄屋役中 安政二卯 同三辰 城野……          安政6 城野手永未歩掛米仕詰          万延元 城野手永申歩掛米仕詰          安政4 企救郡津田手永巳諸取立勘定帳          安政5 企救郡津田手永午諸取立勘定帳          安政6 安政六未 大借状扣 覚 郡中          安政6 企救郡未歳御郡土蔵納証文拾貳本          安政6 企救郡津田手永未諸取立勘定帳</p>	糸田町関係史料の調査のため	糸田町教育委員会	岩熊真実	1	H26.7.7
32	歴史課	前田勇氏寄贈品(武器・武具46 手裏剣25本)	根岸流手裏剣術研究のため	福岡大学名誉教授	大谷義博	1	H26.7.22
33	歴史課	宗光寺 阿弥陀如来坐像	特別展「九州仏」のため撮影	福岡市博物館	末吉武史	3	H26.7.26
34	歴史課	小倉織	小倉織調査		関岡千秋	1	H26.7.30
35	歴史課	<p>堀切コレクション(小倉織1600・97・552・1688・1306・564・562・561・563・550)          大森家コレクション 小倉織          川野芳子寄託 小倉織袴・記録          小倉織袴 間宮照雄寄贈          小倉織袴 和田マツ寄贈          小倉織袴 棕原チカ寄贈</p>	築城則子展調査のため	北九州市立美術館分館	奥田亜希子	1	H26.8.1
36	歴史課	堀切コレクション (No.17・81・168・315・335・400・438・439・1052・1646・2016)	堀切コレクション調査		品川雅男	2	H26.8.10
37	歴史課	八旗神社1号墳出土 双龍環頭大刀	研究論文執筆のため		豊島直博	1	H26.10.6
38	歴史課	企救郡菜園場村中村文書	企救郡菜園場村中村文書目録の調査		本田康之	1	H26.10.10
39	歴史課	秋吉資料1802～24 筑前国遠賀郡中古城記	福岡県中近世城館等詳細分布調査・関連文書調査	九州歴史資料館	岡寺良	1	H26.10.24
40	歴史課	津田文書 小笠原文書	研究論文作成のため		高垣亜矢	1	H26.11.26
41	歴史課	寄託資料「ハマダヤのパン」他1点 (浜田家資料No.182・No.109)	青柳喜兵衛についての資料調査	北九州市立美術館 学芸課	重松知美	1	H27.1.19
42	歴史課	加来家文書	石炭関係研究資料	直方郷土研究会	祖父江陽一	2	H27.1.23
43	歴史課	福岡県指定文化財 足立山頂出土古鏡 9面	環日本海地域における天台信仰の展開と鏡像の関係についての研究のため	奈良国立博物館	清水健	1	H27.3.20
44	歴史課	足立山出土の古鏡1面(承安四年銘)	論文執筆	福岡女子短期大学	藤丸詔八郎	1	H27.3.27

## 18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	自然史	宗像市産哺乳類化石（コリフォドン類）標本	14 箱	福井県立恐竜博物館	新生代における絶滅哺乳類相の研究	H26. 3. 20～ H27. 3. 19
2	自然史	宗像石	1	海の道むなかた館	常設展特設コーナーでの展示	H26. 4. 1～ H27. 3. 31
3	自然史	カブトムシ模型 2 点、モルフォチョウ等標本 73 点、ドイツ箱 10 点	85	萩博物館	特別展「最強昆虫列伝～カブトムシ VS などの昆虫戦士たち～」での展示	H26. 6. 20～ 9. 11
4	自然史	魚類化石（フナ：2 点、ピワマス類、ヨシノボリ類、ニゴイ類、アンブリブテルス：各 1 点）	6	日田市立博物館	企画展「ちくご川水系のお魚たち全員集合」での展示	H26. 7. 8～ 9. 2
5	自然史	芦屋層群産出ワニ類頭骨化石	1	大阪大学総合学術博物館 橋爪節也	展示会「奇跡の古代鱗・マチカネワニ -発見 50 年の軌跡-」での展示	H26. 7. 11～ 9. 13
6	自然史	イヌ骨格標本	1	産業医科大学 菊田彰夫	解剖学実習にける教育用比較標本としての利用	H26. 11. 1～ H27. 3. 31
7	自然史	コリフォドン類歯の化石レプリカ 1 点、アミノドン下顎犬歯の化石レプリカ 1 点、プロトプテルム産状レプリカ 1 点、プロトプテルム類頭骨の化石レプリカ 1 点、骨質歯鳥類上腕骨の化石レプリカ 1 点	5	宗像市教育委員会	正月企画展「ムナカタの化石—4800 万年前のタイムカプセル—」での展示（場所：海の道むなかた館）	H26. 12. 9～ H27. 2. 6
8	自然史	北九州市関門層群千石層産カメ化石	3	早稲田大学 平山 廉	カメ化石の系統学的研究	H26. 4. 1～ H27. 3. 31
9	自然史	軟体動物化石	19	北海道大学 伊庭靖弘	鞘形類の分類学的・進化的研究	H26. 4. 10～ H28. 3. 31
10	自然史	リュウグウノツカイおよび内臓		Mahidol Univ., Thailand, Tyson Roberts 香川大学 滝川祐子	内臓等の寄生虫調査	H26. 6. 13～ 6. 30
11	自然史	クモヒトデ類化石（和歌山県産）	1	石田吉明	外和泉層群産クモヒトデ類化石の分類学的研究	H26. 8. 1～ H28. 8. 15
12	自然史	宮若市千石峡産中生代白亜紀前期カメ類（アドクス）化石	一式	福井県立恐竜博物館	複製の作成（研究用および展示用）	H26. 11. 7～ H27. 1. 22
13	自然史	ツノガイヤドカリの一種（ <i>Cheiroplatea mitoi</i> ）	1	千葉県立中央博物館 駒井智幸	ヤドカリの分類学的研究	H26. 11. 17～ H27. 5. 16
14	自然史	アリアケガニ（ <i>Cleistostoma dilatatum</i> ）	5	琉球大学 成瀬貫	カニ類の分類学的研究	H26. 11. 25～ H27. 5. 24
15	自然史	池田隼人氏収集のガンガゼ類乾燥標本	3	水産総合研究センター中央水産研究所 張成年	ウニ類の分類学的研究	H26. 11. 30～ H27. 5. 29
16	自然史	ヤワラガニ類の一種（ <i>Rhynchoplax keijibabai</i> 2 点、 <i>R. hondai</i> 1 点）	3	千葉県立中央博物館 駒井智幸	ヤワラガニ類の分類学的研究	H26. 12. 24～ H27. 6. 23
17	自然史	歯鯨類頭骨 1 点、鯨類部分頭骨 1 点、ヤマトケタス タイプ標本頭頂部 1 点	3	国立科学博物館 甲能直樹	標本に残された頭蓋腔と耳骨内部の CT 撮影	H26. 12. 20～ H27. 3. 31
18	自然史	宗像市産哺乳類化石（コリフォドン類）標本	14 箱	福井県立恐竜博物館	新生代における絶滅哺乳類相の研究	H27. 3. 20～ H28. 3. 19
19	歴史	孫文書「世界平和」扁額 1 点 安川敬一郎による孫文歓迎挨拶原稿 1 枚 安川敬一郎「出納簿」 2 冊 安川敬一郎遺品 1 式 ほかに写真 6 枚 （安川敬一郎邸における孫文との記念写真、製鐵所における孫文と記念写真、安川敬一郎肖像写真、安川敬一郎と平岡幸太郎の写真、安川敬一郎衆議院議員当選証、安川敬一郎貴族院議員当選証）	1 式	一般社団法人西日本工業倶楽部（旧松本健次郎邸）	一般社団法人西日本工業倶楽部で開催される企画展「孫文を支えた人々—安川敬一郎、梅屋庄吉展—」での展示	H26. 4. 16～ 4. 19
20	歴史	湖州六花鏡 1 面（福岡県指定文化財・当館寄託 受託期限 平成 27 年 3 月 31 日） 湖州円鏡 1 面（福岡県指定文化財・当館寄託 受託期限 平成 27 年 3 月 31 日） 源正包「刀」享保十二年（1727）銘（福岡県指定文化財） 源正包「脇差」（福岡県指定文化財） 「金印「漢委奴国王」模造」 「伝宝満山出土経筒」	6	メタルズ！実行委員会	当館を含む 4 会場で開催の展覧会「メタルズ！—変容する金属の美—」での展示	H26. 6. 28～ H27. 3. 8
21	歴史	木造阿弥陀如来坐像（宗光寺所蔵、仏母寺管理責任）1 軀	2	九州仏展実行委員会	特別展「九州仏—1300 年の祈りとかたち—」での展示	H26. 10. 12～ 11. 30

22	歴史	戸畑区牧山古墳群出土蟠螭文鏡	1	株式会社スタジオ33	戸畑出土の蟠螭文鏡の模造品作成のため。	H. 26. 8. 22 ~ 11. 30
23	歴史	小今井家文書 14点	14	豊前市教育委員会	企画展「小今井潤治生誕二百年祭記念展示」での展示	H26. 9. 20 ~ 10. 5
24	歴史	松菊里遺跡出土 遼寧式銅剣レプリカ1点 同出土 磨製石剣レプリカ1点 同出土 磨製石鏃レプリカ1点 同出土 石製玉類レプリカ2点	5	宗像市教育委員会（郷土文化交流課）	平成26年度秋の特別展「ムナカタ国はあったか～魏志倭人伝の国々からみた宗像～」での展示	H26. 9. 25 ~ 11. 21
25	歴史	小倉織袴（川野芳子氏寄託） 小倉織袴（和田マツ氏寄贈）	2	北九州市立美術館分館	小倉織復元30周年を記念して開催される「築城則子-縞の今-」での展示	H26. 9. 27 ~ 11. 3
	歴史	西大山笠永久寄託 西大山笠幕類（前掛幕、水引幕、切幕）	6	戸畑祇園大山笠振興会 会長後藤雅秀	西大山笠幕類の復元新調に伴う元幕調査のため	H26. 10. 27 ~ H27. 3. 31
27	歴史	牧山古墳群出土 平瓶	1	戸畑郷土史会 会長小石善則	戸畑図書館1階郷土資料室での展示	H27. 4. 1 ~ H28. 3. 31
28	歴史	宮原遺跡出土 石包丁 B-31	1	大阪府立弥生文化博物館	大阪府立弥生文化博物館の常設展示及び収蔵展示のため	H27. 4. 1 ~ H28. 3. 31



## 19. 画像等資料の貸出状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	申請日
1	自然史	アースモール展示風景画像	1	小学館クリエイティブ	「小学館の図鑑 NEO 恐竜」（204. 6. 18 刊行予定）への掲載	H26. 4. 21
2	自然史	ダンクルオステウス標本画像	1	ポプラ社	ポプラディア大図鑑 WONDA 「大昔の生きもの」への掲載	H26. 4. 25
3	自然史	アフリカゾウ骨格画像	1	株式会社 nomad	NHK-BS プレミアム番組「動物の赤ちゃんミニアルバム」での使用	H26. 5. 14
4	自然史	常設展示室風景等の画像	4	日本経済新聞社	日経プラス1への掲載	H26. 6. 20
5	自然史	メガネウラ復元模型画像	1	日本自然保護協会	「自然保護」541号（2014年9・10月号）への掲載	H26. 7. 12
6	自然史	下関吉母産恐竜足跡化石画像	1	豊田ホテルの里ミュージアム	開館・合併10周年記念察し「下関の自然（仮）」への掲載	H26. 8. 5
7	自然史	キリン骨格画像	1	株式会社 nomad （担当：幸フミコ氏）	NHK-BS プレミアム番組「動物の赤ちゃんミニアルバム」での使用	H26. 11. 26
8	自然史	メガロドンの顎レプリカ画像、プテラノドン全身骨格レプリカ画像、ケツアルコアトルス全身骨格レプリカ画像	3	学研教育出版	古生物大百課（仮称）への掲載	H26. 12. 12
9	自然史	ナウマンゾウ全身骨格レプリカ画像	1	PHP 研究所	2015年3月発行予定の雑誌「日本の「なぜ？」に答えるお話366」への掲載	H27. 1. 7
10	自然史	平尾台の洞窟測量図（原図）	一式	曾塚孝氏	平尾台の洞窟の再調査	H27. 1. 9
11	自然史	本市周辺に分布する関門層群産の白亜紀の化石や産地画像	8	築地書館	「日本の恐竜図鑑2 白亜紀の真実（仮題）」への掲載	H27. 1. 13
12	自然史	アフリカゾウ及びキリン骨格画像	各1	アルバ	ポプラ社刊「NHK ダーウィンが来た！ 第3巻『はくりよく！大きな生きもの（仮題）』」に掲載	H27. 1. 15
13	自然史	ナウマンゾウ全身骨格レプリカ画像	1	第一学習社	高等学校理科用文部科学省検定済教科書「改訂 高等学校地学基礎」への掲載	H27. 2. 5
14	自然史	化石シーラカンスの画像（ウンディア）	1	読売新聞東京本社 （担当：船越翔氏）	「生きた化石シーラカンスの謎」の記事への使用	H27. 2. 10
15	自然史	淡路島産白亜紀アンモナイト（プラビトセラス）の画像	1	築地書館	「日本の恐竜図鑑2 白亜紀の真実（仮題）」への掲載	H27. 2. 16
16	自然史	白亜紀産化石（アンモナイトおよびケツアルコアトルス）標本の画像	7	ドゥ アンド ドゥ ブランニング	「白亜紀の生物 上・下」（土屋健・著、技術評論社・発行）への掲載	H27. 3. 16
17	自然史	ケツアルコアトルス画像	5	豊橋市自然史博物館 （担当：安井謙介氏）	特別企画展「天空を制した巨大翼竜と鳥たち（仮称）」での使用	H27. 3. 10
18	自然史	アースモール中生代展示風景	1	新日本出版社	書籍「冒険恐竜館 5 大絶滅をこえて」内の「恐竜の見られる博物館」コーナーへの掲載	H27. 3. 17
19	自然史	ハボロダイオウイカ、ヒキダコウモリダコ、ニッポンアミアの画像	3	築地書館	「日本の恐竜図鑑2 白亜紀の真実（仮題）」での使用	H27. 3. 31
20	歴史	堀切辰一コレクション（No.341、No.1441、No.2243）	3	公益財団法人 渋沢栄一記念財団	『青淵』2014年6月号堀切辰一氏寄稿「襦袢との暮らし」への掲載	H26. 4. 2
21	歴史	小笠原忠真肖像画（広寿山福聚寺所蔵・当館寄託資料）	1	株式会社 TVQ 九州放送	テレビ番組「おとななテレビ」（4月26日放送予定分）の映像制作	H26. 4. 11
22	歴史	木綿地普段着兼用野良着（堀切コレクションNo.65）	1	株式会社ワッカ	『ricepaper88』No.36 田中優子氏インタビュー「日本の布、衣類について」への掲載	H26. 4. 25
23	歴史	小倉縮緬帳 2	2	株式会社ハースト 婦人画報社	『美しいキモノ』夏号、「あのときの流行と『美しいキモノ』」第二回、「明石縮の発生と流行（仮）」への掲載	H26. 4. 30
24	歴史	「湖州六花鏡」（足立山妙見宮所蔵・当館寄託 福岡県指定文化財） 「湖州円鏡」（足立山妙見宮所蔵・当館寄託 福岡県指定文化財） 源正包「刀」享保十二年（1727）銘（福岡県指定文化財） 源正包「脇差」（福岡県指定文化財） 「金印「漢委奴国王」模造」 「伝宝満山出土経筒」	6	メタルズ！実行委員会	当館を含む4会場で開催の展覧会「メタルズ！-変容する金属の美-」図録等関係印刷物への掲載	H26. 5. 8
25	歴史	重留遺跡出土広形銅矛	1	実教出版株式会社	『professional engineer library 化学』への掲載	H26. 5. 20

26	歴史	木造金剛力士像（如法寺所蔵）ポジフィルム 2 喜多元規筆 即非画像 デジタルデータ 1 海西法窟額字原書 デジタルデータ 2	5	公益財団法人ア クロス福岡	『アクロス福岡文化誌第8巻 福岡県の仏 像(仮)』への掲載	H26. 6. 6
27	歴史	木造阿弥陀如来坐像（宗光寺所蔵、仏母寺 管理責任 当館寄託）1 軀	1	九州仏展実行委 員会	特別展「九州仏—1300年の祈りとかたち —」に展示	H26. 7. 15
28	歴史	小田宅子夫妻肖像画（後藤寿子氏所蔵、当 館寄託資料）	1	(株)TVQ九州放送 編成局	テレビ番組「おとななテレビ」（8月9日 放送予定分）の映像制作	H26. 8. 7
29	歴史	米粒脇立 紫糸威二枚銅具足（当館所蔵）	1	株式会社宮帯出 版社	宮崎隆旨著『異形兜』（2014年10月末発 行予定）への掲載	H26. 8. 8
30	歴史	松菊里遺跡出土資料レプリカ画像	1	宗像市教育委員 会（郷土文化交流 課）	平成26年度秋の特別展「ムナカタ国はあ ったか〜魏志倭人伝の国々からみた宗像 〜」図録・展示解説パネル・ポスターへの 掲載	H26. 8. 14
31	歴史	森吉成（毛利勝信）他連署知行宛行状 西国内海名所一覧と小倉城ジオラマ 細川忠興知行宛行状 細川忠興ローマ字印書状（細川忠興書状 永照寺所蔵、当館寄託） 小笠原忠真画像（広寿山福聚寺所蔵、当館 寄託） 細川忠興画像（複製） 豊国名所 豊前小倉図 筑前・豊前国境絵図	9	A5 BULE STUDIO	「永照寺 開基520年の歴史」（住職継職・ 開基520年記念）映像制作	H26. 9. 24
32	歴史	小倉織袴 2点 神安工場写真 2点 錦絵 1点	5	株式会社TVQ九 州放送	テレビ番組「ぐっ！ジョブ 九州ゲンキ主 義経済」において特集する「職人技 REBORN 世界も認める伝統工芸「小倉織」」の映像 制作	H26. 10. 3
33	歴史	錦絵「山海愛度図絵 はやく酔をさました い」 錦絵「諸工職業鏡『小倉織機織之図』」 神安工場写真 西国内海名所一覧	4	NHKプラネット九 州支社	テレビ番組「はっけんTV」（平成26年10 月20日放送予定）の映像制作	H26. 10. 10
34	歴史	南九州で使用された沖ぼた（堀切辰一コレ クション 襦袢 No.4） 書籍と蝶の柄が染められた晴着（堀切辰一 コレクション 襦袢 No.3 4 1）	2	丸善出版株式會 社	『民俗学事典』への掲載	H26. 10. 16
35	歴史	県指定 木造阿弥陀如来立像（小倉北区・ 法典寺） 県指定 木造金剛力士立像（豊前市・如法 寺）	2	福岡県教育庁文 化財保護課	平成26年度「福岡の神仏の世界—北部九 州に華開いた信仰の造形—」にあわせて開 催する県指定文化財（彫刻）のパネル展示、 および図録に掲載	H26. 10. 28
36	歴史	小倉城ジオラマ（当館テーマ館「江戸時代 の北九州」展示）	1	株式会社碧水社	『週刊日本の城115』『小倉城探訪』に掲 載	H27. 1. 28
37	歴史	小田宅子夫妻肖像（当館寄託資料・日高康 氏所蔵）	1	公益財団法人八 十二文化財団	機関誌『地域文化』No.112に掲載	H27. 2. 25
38	歴史	小笠原忠真像（当館寄託資料・広寿山福聚 寺所蔵）	1	株式会社碧水社	週刊『日本の城』第120号に掲載	H27. 3. 12
39	歴史	西国内海名所一覧 九州小倉合戦図 腰印 豊国名所「鳥越の図」 小倉藩領分捕之図 小倉藩印 香春藩印 豊津藩印 引札「豊前企救郡藍嶋沖白洲燈籠堂図」 島村志津摩所有の采配 小倉藩土屋敷絵図 豊前小倉図 小笠原忠徹（清寛寺殿）肖像 小笠原忠嘉（義峯院殿）肖像 小笠原忠幹（忠幹寺殿）肖像 小笠原忠忱（錦陵院）肖像 小倉藩土香野栄助の小倉織袴	17	公益財団法人ア クロス福岡	アクロス福岡文化誌第9巻『福岡県の幕末 維新』に掲載	H27. 3. 17

## 20. 学芸員研究業績（自然史）

### （1）論文・著書など

- Manabe, T., Suda, R. and Shimizu, K. (2015) Report on the factors affecting the decline in *Potamogeton dentatus*, an endangered water plant, in Kitakyushu City. Bulletin of the Kitakyushu Museum on Natural History and Human History, Ser. A Natural History, 13, 7–18.
- Asakawa, M., Tsuruda, S., Ishimoto, Y., Shimomura, M. et al. (2014) Paralytic toxin profiles of xanthid crab *Atergatis floridus* collected on reefs of Ishigaki Island, Okinawa Prefecture, Japan and Camotes Island, Cebu Province, Philippines, *Science Journal of Clinical Medicine*, 3 (5), 75–81.
- 下村通蒼 (2014) 水圏の隠蔽環境に生息する小型甲殻類の分類学的研究. 環境管理, 43, 27–34.
- 下村通蒼・布村昇 (2013-2014) 日本産等脚目甲殻類の分類(21)-(26). 海洋と生物 (隔月掲載, 6回分).
- 逸見泰久・下村通蒼・井原 庸 (2014) 甲殻類その他. 福岡県レッドデータブック 2014. 福岡県の希少野生生物, pp. 243-260, 福岡県.
- 井原 庸・逸見泰久・下村通蒼 (2014) クモ形類等. 福岡県レッドデータブック 2014. 福岡県の希少野生生物, pp. 261-267, 福岡県.
- Yabumoto, Y. (2014) *Sinamia kukurihime*, a new Early Cretaceous amiiform fish from Ishikawa, Japan. Paleontological Research, 18 (4), 211–223.
- Berrell, W. R., Alvarado-Orteda, J., Yabumoto, Y., and Salisbury, S. W. (2014) The first record of the ichthyodectiform fish *Cladocyclus* from eastern Gondwana: A new species from the Lower Cretaceous of Queensland, Australia. Acta Palaeontologica Polonica, 59 (4), 903–920.
- 簀本美孝・上野輝彌 (2014) 白亜紀の絶滅をどのように生き延びたのか. 現生シーラカンスの解剖と化石シーラカンスからわかるシーラカンスの進化. 遺伝, 68 (3), 245-250.
- 小松俊文・三宅優佳・真鍋真・平山廉・簀本美孝・對比地孝亘 (2014) 甌島列島に分布する上部白亜系姫浦層群の層序と化石および堆積環境. 地質学雑誌, 120, 補遺, 19-39.
- Takagi, M., Saitoh, T., Yamaguchi, N., Okabe, H., Nishiumi, I. and Takeishi, M. (2015) A breeding record of the Ryukyu Scops Owl on Okinoshima, in northernmost Fukuoka, Japan. *Ornithol. Sci.*, 14, 53–59.
- 武石全慈・岡部海都・大槻都子 (2014) 福岡県沖ノ島・小屋島におけるカンムリウミスズメと家鼠類等の生息状況 (2014 年度春期調査を中心に) 及び外来種対策のワークショップについて. 29 pp., カンムリウミスズメ個体数調査チーム.
- 武石全慈・大槻都子 (2015) 平成 26 年度国指定沖ノ島鳥獣保護区におけるネズミ類侵入状況調査業務報告書. 26 pp., 海鳥保全グループ.
- 太田泰弘・安東淳一・藤川将之 (2015) 秋吉帯石灰岩に由来する下部白亜系高津尾層の石灰岩礫産フズリナの化石化について. 秋吉台科学博物館報告, 50, 11-25.
- 杉野広利・太田泰弘ほか (2015) 新体制で臨んだ活動 1 年目の実績. ジオ&バイオ研究会報告書. 4, 3-31.
- 山根明弘 (2014) ねこの秘密 (文春新書). 236 pp., 文藝春秋社.
- 山根明弘 (2014) 書評:『ねこの動物学』(大石孝雄著). 哺乳類科学, 54 (2), 304-305.

- Miyoshi, M., Sano, T., Shimizu, K., Delacour, A., Hasenaka, T., Mori, Y. and Fukuoka, T. (2015) Boron and chlorine contents of basalts from the Shatsky Rise, IODP Expedition 324: Implications for the alteration of oceanic plateaus. *Geological Society of America Special Papers*, 511, p. SPE511-04.
- 関口悠子・長谷中利昭・森 康 (2014) 始良カルデラ火山に見られる3回のマグマ活動サイクル. *月刊地球*, 36, 303-309.
- 森 康・佐藤浩司・坪根伸也・今塩屋毅行・龍 孝明・小田裕樹・稗田智美 (2015) 土師器が語る古代の海上交易. 西部瀬戸内古代土器流通検討会, pp. 57.
- Tanabe, K., Misaki, A. and Ubukata, T. (2015) Late Cretaceous record of large soft-bodied coleoids based on lower jaw remains from Hokkaido, Japan. *Acta Palaeontologica Polonica*, 60, 27-38.
- Ohashi, T., Márquez, A. P., Hasegawa, Y., Koda, Y., Taketani, Y. and Nemoto, M. (2015) Hadrosauroid remains from the Coniacian (Late Cretaceous) Futaba Group, northeastern Japan. *Bulletin of the Kitakyushu Museum of Natural History and Human History, Series A*, 13, 1-6.
- Minoshima, Y. N. (2014) The identity of the Japanese species of the genus *Paracymus* Thomson (Coleoptera, Hydrophilidae). *Elytra, New Series*, 4 (1), 143-149.
- Fikáček, M., Minoshima, Y. N. and Newton, A. F. (2014) A review of *Andotypus* and *Austrotypus* gen. nov., rygmodine genera with an austral disjunction (Hydrophilidae: Rygmodinae). *Annales Zoologici*, 64 (4), 557-596.
- Minoshima, Y. N., Komarek, A. and Ôhara, M. (2015) A revision of *Megagraphydrus* Hansen (Coleoptera, Hydrophilidae): synonymization with *Agraphydrus Régimbart* and description of seven new species. *Zootaxa*, 3930 (1), 1-63.
- 蓑島悠介 (2015) クロシオガムシ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 5 昆虫類, 399 p., 株式会社ぎょうせい, 江東区.
- 蓑島悠介 (2015) エゾコガムシ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 5 昆虫類, 400 p., 株式会社ぎょうせい, 江東区.
- 吉富博之・大原昌宏・蓑島悠介 (2015) エゾガムシ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 5 昆虫類, 401 p., 株式会社ぎょうせい, 江東区.
- 蓑島悠介 (2015) オキナワマルチビガムシ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 5 昆虫類, 465 p., 株式会社ぎょうせい, 江東区.

## (2) 学会等講演

- Saito, S., Nagamatsu, D., Yamagawa, H., Kominami, Y., Nishimura, N., Manabe, T., Sato, T. and Niiyama, K. (2014) Modeling tree population dynamics in relation to typhoon disturbance in *Lucidophyllous* forests in western Japan. The 6th East Asian Federation of Ecological Societies Congress. Haikou, China.

- 下村通蒼・成瀬 貫 (2014) 西表島から得られたミズムシ亜目等脚類の 2 未記載種. 日本動物分類学会第 50 回大会. 国立科学博物館筑波地区.
- 曾我昌史・尾崎研一・山浦悠一・河原孝行・福山研二・佐山勝彦・加藤哲哉・下村通蒼・伊藤哲也・吉田尚生 (2015) 局所・景観スケールでの環境変化に対するチョウ類の応答一種・機能群・群集レベルでの解析一. 第 126 回日本森林学会大会. 北海道大学農学部.
- 藪本美孝・廣瀬浩司・鶴飼宏明・パウロ ブリトー (2014) 熊本県天草市御所浦で発見された白亜紀イクチオデクテス目魚類について. 日本古生物学会 2014 年年会. 九州大学.
- 宮田真也・藪本美孝・平野弘道 (2014) 大分県玖珠盆地中部更新統野上層産コイ科ハス類化石の系統分類学的研究. 日本古生物学会 2014 年年会. 九州大学.
- 村上康明・馬場 稔・荒井秋晴 (2014) シイタケを食うネズミならびに大分県産トリユフの話題. 三学会 (日本生態学会九州地区、日本動物学会九州支部、日本植物学会九州支部) 合同大分例会・第 4 回大分自然環境研究発表会. 大分大学.
- Takeishi, M., Okabe, H., Carter, H., Whitworth, D. and Otsuki, K. (2014) Status of Japanese Murrelets (*Synthliboramphus wumizusume*) and Rats (*Rattus* sp.) at Koyashima and Okinoshima in Fukuoka, Japan. 26th International Ornithological Congress Round Table Discussion “Restoring seabird breeding colonies invaded by rats and other introduced mammals in Japan and Korea”. Tokyo.
- Takeishi, M. (2014) Status of Japanese Murrelets (*Synthliboramphus wumizusume*) in Kaminoseki waters, Yamaguchi Prefecture, Japan. 26th International Ornithological Congress Round Table Discussion “Biodiversity and the rare Japanese Murrelet at Kaminoseki: The Sea of Miracles and Kaminoseki nuclear power plant planning”. Tokyo.
- 太田泰弘・佐野弘好・杵山哲男 (2014) 岐阜県山県市円原の美濃帯舟伏山石灰岩から産出した扇形の殻を持つ微小なフズリナ類とその生息環境について. 日本地質学会第 121 年学術大会. 鹿児島大.
- 石山沙耶・安東淳一・中井俊一・太田泰弘・ダス カウシク (2014) 地質学的証拠に基づいた地殻流体が関与する岩石破壊過程の解明. 地球惑星科学連合 2014 年大会. 横浜市.
- 石山沙耶・安東淳一・Kaushik Das・太田泰弘・中井俊一 (2014) 地殻流体によって引き起こされた岩石破碎現象の解明. 日本地質学会第 121 年学術大会. 鹿児島大.
- 太田泰弘・平山静男・野井英明 (2014) ジオパーク活動と持続可能な開発のための教育 (ESD) 活動の比較. 福岡県環境教育学会第 17 回年会. 北九州市.
- 太田泰弘・佐野弘好・杵山哲男 (2014) 岐阜県山県市円原の美濃帯舟伏山石灰岩から産出した巻の解けた微小なフズリナ類について (予察的研究). 日本古生物学会 2014 年年会. 九州大学.
- 森 康・重野未来・川本竜彦・西山忠男 (2014) 西南日本の沈み込み帯メランジュ中のヒスイ輝石岩に記録された塩水. 地球惑星科学連合大会. 横浜市.
- 西山忠男・森部陽介・石丸聡子・荒井章司・森 康・重野未来 (2014) 沈み込み起源の超高压クロミタイト: 西彼杵変成岩の例. 地球惑星科学連合大会. 横浜市.
- 平川雄一郎・長谷中利昭・望月伸竜・森 康 (2014) 阿蘇火山中央火口丘群、完新世火山噴出物の岩石記載、化学組成と古地磁気層序との対比. 地球惑星科学連合大会. 横浜市.
- 黒川聖・山崎秀人・長谷中利昭・森 康 (2014) 阿蘇-4 大規模火砕噴火直前および初期噴出物の鉱物組成.

地球惑星科学連合大会. 横浜市.

Handini, E., Hasenaka, T., Wibowo, H., Shibata, T., Mori, Y. and Harijoko, A. (2014) Evaluating slab-fluid contribution into inhomogeneous mantle source: geochemical variation of Central and East Java arc. Japan Geoscience Union Meeting. Yokohama.

森 康・重野未来・西山忠男 (2014) 超塩基性メランジにおける流体?岩石相互作用と浸透率変化: 野母変成岩類に見られる例. 日本地質学会第 121 年学術大会. 鹿児島市.

重野未来・森 康・川本竜彦・西山忠男 (2014) 西南日本の蛇紋岩メランジェ中のヒスイ輝石岩に記録された塩水. 日本地質学会第 121 年学術大会. 鹿児島市.

Mori, Y., Shigeno, M., Kawamoto, T. and Nishiyama, T. (2015) Saline fluid inclusions in jadeitites from southwest Japan: Records of slab-derived fluid composition in subduction-zone channels. International Eclogite Conference 2015.

御前明洋・前田晴良・岡本 隆 (2014) 上部白亜系和泉・外和泉層群産ノストセラス科異常巻アンモノイドの進化と古生態. 日本古生物学会 2014 年年会. シンポジウム「フィールド古生物学」(招待講演). 九州大学.

棚部一成・御前明洋・疋田吉識・伊庭靖弘・生形貴男 (2014) 北太平洋域の上部白亜系産鞘形類顎器化石とその進化的意義. 日本古生物学会 2014 年年会. 九州大学.

御前明洋・小松俊文・熊谷太朗・荷福洸・辻野泰之・前田晴良 (2015) 蝦夷層群産白亜紀後期大型アンモノイド殻に付着するベッコウガキ科二枚貝の産状. 日本古生物学会第 164 回例会. 豊橋市自然史博物館.

Ohashi, T., Hasegawa, Y. and Suzuki, C. (2014) Dinosaur remains from the mid-Cretaceous shallow marine sediments of the Futaba Group, Japan. The 2<sup>nd</sup> international symposium of international geoscience programe (IGCP) project 608. Waseda, Japan.

宮田和周・岡崎美彦・酒井治孝・大橋智之・富田幸光 (2014) 日本最古の始新世サイ上科 (奇蹄類) 化石. 日本古生物学会 2014 年年会. 九州大学.

蓑島悠介 (2014) 日本産ツヤヒラタガムシ属の再検討 (鞘翅目・ガムシ科). 日本昆虫学会第 74 回大会. 広島大学.

蓑島悠介 (2014) 水の中で生きる甲虫たち. 第 13 回 日韓ほたるシンポジウム (招待講演). AIM (北九州市).

### (3) 外部資金取得状況

#### 【文部科学省科学研究費補助金】

基盤研究 (C). 自然・文化景観から人と自然との関わりを現出するための新たな研究手法の構築. 研究代表者: 真鍋 徹. 研究分担者: 富岡優子、中西義昌、御前明洋. 2014-2017 年度.

基盤研究 (C). 日本産魚類化石による魚類分岐年代解析と魚類化石データベース構築に関する研究. 研究代表者: 藪本美孝. 2014-2017 年度.

基盤研究 (C). 変成/交代反応と変形の連結に関する速度論的研究. 研究代表者: 森 康. 2012-2014 年度.

若手研究 (B). 超寄生性甲殻類カクレヤドリムシ類の起源と進化. 研究代表者: 下村通誉. 2012-2014 年度.

若手研究 (B). 付着生物を鍵とした化石軟体動物の古生態の解明と中生代海洋環境の復元. 研究代表

者：御前明洋，2013-2015 年度。

若手研究 (B)．自然史系博物館における恐竜を用いた、研究を迫体験できる体系的な触れる展示の開発。研究代表者：大橋智之，2014-2016 年度。

### 【その他の補助金】

北海道大学低温科学研究所・共同研究．空間統計分析に基づく北方林の更新維持機構の解明．研究分担者：真鍋 徹（研究代表者：鈴木智之（東京大学））．2014 年度。

笹川科学研究助成金実践研究．土師器が語る古代の海上交易．研究代表者：森 康．2014 年度。

コンサベーション・アライアンス・ジャパン「自然保護基金プログラム」補助金．福岡県沖ノ島・小島屋島でのカンムリウミスズメ・家鼠類生息状況調査及び外来種対策ワークショップの実施．研究分担者：武石全慈（研究代表者：カンムリウミスズメ個体数調査チーム）．2014 年度。

## 2 2. 学芸員研究業績（歴史）

### （1）論文・著書など

松井和幸（2014）「中世鋳物師について」『広島市の考古学と文化財保護』広島市の考古学と文化財保護刊行会編（pp. 265～275）

松井和幸・宮元香織（2015）「小倉高校寄贈資料について」『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史』第 12 号（pp. 29～52）

日比野利信（2015）「福岡藩」『福岡県の幕末維新』海鳥社（pp. 24～37）

日比野利信（2015）「地方企業家の旅—安川敬一郎の時空間—」『近代日本における企業家の社会史—政治・経済・文化—』科研費報告書（pp. 10～24）

上野晶子・大和恵子（2015）「北九州市立自然史・歴史博物館所蔵木綿地袴の調査報告—小倉織見本帖との比較を通して—」『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史』第 12 号（pp. 15～28）

富岡優子（2014）「棟方志功の九州初個展と関門民藝会」『棟方志功 安川電機カレンダーにみる九州の姿』北九州市立小倉城庭園（pp. 5）

富岡優子（2015）「棟方志功と北九州」『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史』第 12 号（pp. 1～14）

守友 隆（2014）「豊後石垣原軍略記」＜九州の関ヶ原＞黒田如水と大友義統の合戦を記した軍記『福岡地方史研究』第 52 号（pp. 50～65）

守友 隆（2015）「小倉藩」『福岡県の幕末維新』海鳥社（pp. 58～74、77～83、86～89）

中西義昌（2014）「縄張り研究の独自性と新しい城郭研究が目指すもの—シンポジウム「縄張・考古・文献—城郭研究の明日—」を通して—」『中世城郭研究』第 28 号（pp. 220～236）

### （2）学会等講演

富岡優子（2014）「釈迦金棺出現図—所以たるテキストと制作背景—」第 67 回美術史学会全国大会、早稲田大学

守友 隆（2014）「幕末期対馬藩の海外事件情報の受発信—慶応 2 年（1866）《丙寅洋擾》の情報を中心に—」九州史学会日本史部会、九州大学

中西義昌（2014）「城郭研究からみる小倉城」第 48 回福岡県地方史研究協議大会「福岡県の近世城郭 3 豊前の部」、福岡県立図書館

中西義昌（2014）「近世城郭の形成と大名権力」第 31 回城郭研究者セミナー「近世城郭をどう捉えるか」基調報告、九州大学「西新プラザ」

### (3) 外部資金取得状況

#### 【文部科学省科学研究費補助金】

若手研究 (B). 幕末における海外文化の収集活動と翻訳について. 研究代表者: 上野晶子. 2013-2015 年度.

若手研究 (B). 九州を中心とする仏涅槃図の基礎的研究. 研究代表者: 富岡優子. 2014-2017 年度.

若手研究 (B). 近世後期日朝間における情報流通の研究—対馬藩宗家史料を素材として. 研究代表者: 守友隆. 2012-2014 年度.

基盤研究 (C). 近代日本における企業家の社会史—政治・経済・文化—. 研究代表者: 日比野利信. 2012-2014 年度.

基盤研究 (C). 自然・文化景観から人と自然との関わりを現出するための新たな研究手法の構築. 研究分担者: 富岡優子、中西義昌 (代表者: 真鍋徹). 2014-2017 年度.

## 2 3. 博物館刊行物

### (1) 研究報告 A 類 自然史 第 13 号 (2015 年 3 月 31 日発行)

Tomoyuki Ohashi, Albert Prieto-Márquez, Yoshikazu Hasegawa, Yoshiki Koda, Yojiro

Taketani & Mamoru Nemoto. Hadorosauroid remains from the Coniacian (Late

Cretaceous) Futaba Group, Northeastern Japan. pp. 1-6. [大橋智之・Albert

Prieto-Márquez・長谷川善和・国府田良樹・竹谷陽二郎・根本守. 東北地方双葉層群白亜紀後期コニアシアンから産出したハドロサウルス類. pp. 1-6]

Tohru Manabe, Ryuichi Suda & Keiji Shimizu. Report on the factors affecting the decline in

*Potamogeton dentatus*, an endangered water plant, in Kitakyushu City. pp. 7-18. [真鍋

徹・須田隆一・清水啓司. 北九州市における絶滅危惧水生植物ガシヤモクの衰退要因. pp. 7-18]

### (2) 研究報告 B 類 歴史 第 12 号 (2015 年 3 月 31 日発行)

#### 【論文】

富岡優子「棟方志功と北九州」(pp. 1-14)

上野晶子・大和恵子「北九州市立自然史・歴史博物館所蔵木綿地袴の調査報告—小倉織見本帖との比較を通して—」(pp. 15-28)

#### 【資料紹介】

松井和幸・宮元香織「小倉高校寄贈資料について」(pp. 29-52)

### (3) 資料集・目録

『堀切辰一コレクション 時代布目録 檻褌』続編第 2 巻、(2014 年 12 月 10 日発行)



年 報  
平成 26 年度

---

発 行 日 平成 28 年 2 月 15 日  
編集・発行 北九州市立自然史・歴史博物館  
北九州市八幡東区東田 2-4-1  
TEL093-681-1011  
FAX093-661-7503  
<http://www.kmnh.jp>  
北九州市印刷物登録番号 第 1508083A 号  
印刷・製本 有限会社 小川印刷